自動車業界の変化の影響等に 関する動向調査報告書

2019年12月



【目次】

Ι	. 調査概要		1
П	. 回答結果の内訳		2
	[. 調査結果		3
	① 自社の概況について		3
	② CASE 及び MaaS の影響について	2	1
	③ 取組状況、事業方針について	2	9
	④ ワークショップについて	4	7
	⑤ 県に対する意見・要望事項について	5	3
I	/. 調査票	5	5

I. 調査概要

(1)調査目的

CASE (接続・自動運転・シェアリング&サービス・電動化) やMaaS (Mobility as a Service) の進展により、自動車業界で起こる「100年に1度」の大きな変化について、県内の自動車関連企業の考え方やニーズを調査・分析する。

(2)調査対象

調査対象企業は県内企業・団体を前提に、自動車関連企業を中心に地域や業種・規模割合に考慮し、 TSR企業情報データベースより2,500社を無作為に抽出した。

(3)調査時期

2019年8月26日(月)~9月30日(月)

(4)調査方法

郵送調査及びWEB調査

(5)調査機関

株式会社東京商工リサーチ 名古屋支社 及び 本社 市場調査部

(6) 報告書を読むにあたっての注意点

- ○報告書本文中の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位以下を四捨五入している。そのため 単一回答であっても構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ○複数回答の設問は、回答が2つ以上あり得るため、構成比の合計が100%を上回る場合がある。
- ○図表中の「N」(Number of casesの略)とは設問に対する回答件数の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数である。
- ○集計表について、上段が回答件数、下段が回答率としている。
- ○複数回答のクロス集計については、集計表のみの掲載としている。
- ○クロス集計について、表側の無回答は集計の対象から外している。

Ⅱ.回答結果の内訳

【有効回答件数・回答率】

発送件数	郵送回答件数	WEB 回答件数	有効回答件数	回答率(%)
2,500	384	213	597	23.9

【従業員規模別(正社員)】

従業員規模	回答件数	構成比(%)
4 人以下	37	6.2
5~9人	32	5.4
10~29人	205	34.3
30~99 人	198	33.2
100 人以上	113	18.9
無回答	12	2.0
全体	597	100.0

【独自技術の有無別】

独自技術	回答件数	構成比(%)
あり	247	41.4
なし	313	52.4
無回答	37	6.2
全体	597	100.0

【開発部署の有無別】

開発部署	回答件数	構成比(%)
あり	166	27.8
なし	417	69.8
無回答	14	2.3
全体	597	100.0

Ⅲ. 調査結果

①自社の概況について

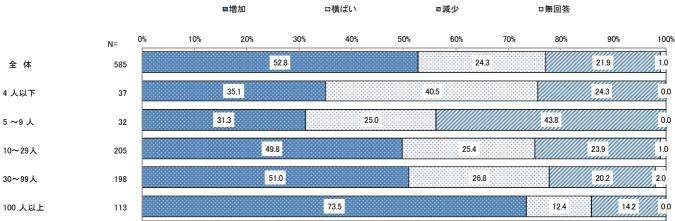
1.5年前との比較

①売上高

売上高の5年前との比較について、「増加」が309件(52.8%)と最も高く、次いで「横ばい」が142件(24.3%)、「減少」が128件(21.9%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「増加」が83件(73.5%)と全体より20.7ポイント高くなっている。

【図表1①-1 5年前との比較(売上高)・従業員規模別】



	比較/ 売上高				
		増加	横ばい	減少	無回答
全 休	(N=585)	309	142	128	6
_ IT	(11 000)	52.8	24.3	21.9	1.0
	4 人以下(N=37)	13	15	9	-
	+ 八灰 * (N=57)	35.1	40.5	24.3	_
434	※ 5 ~9 人(N=32)	10	8	14	_
従	0 1 3 X (N=32)	31.3	25.0	43.8	_
業員	10~29人(N=205)	102	52	49	2
規	10. 29X(N-203)	49.8	25.4	23.9	1.0
模	30~99人(N=198)	101	53	40	4
	30 33V(IN-130)	51.0	26.8	20.2	2.0
	100 人以上(N=113)	83	14	16	_
		73.5	12.4	14.2	_

独自技術の有無別にみると、『あり』で「増加」が146件(59.1%)と『なし』より12.1ポイント高くなっている。

ロ横ばい ■増加 ■減少 □無回答 10% 20% 40% 60% 100% 80% N= 52.3 24.3 22.3 全 体 560 59.1 23.9 15.0 2.0 あり 247 47.0 28.1 0.3 なし 313 5年前との比較/売上高 増加 横ばい 減少 無回答 125 6 293 136 全 体(N=560) 52.3 24.3 22.3 1.1 146 59 37 5 独 あり(N=247) 15.0 2.0 自 59.1 23.9 技 147 77 88 1 なし(N=313) 術 24.6 47.0 28.1 0.3

【図表1①-2 5年前との比較(売上高)・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「増加」が103件(62.0%)と『なし』より12.4ポイント高くなっている。

■増加 ロ横ばい ■減少 □無回答 10% 30% 50% 60% 90% 100% 20% 40% 70% 80% N= 53.2 22.0 24.0 0.9 583 全 体 62.0 20.5 1.2 あり 166 49.6 25.4 24.2 なし 417 0.7 5年前との比較/売上高 増加 横ばい 減少 無回答 5 310 140 128 全 体(N=583) 53.2 24.0 22.0 0.9 103 27 2 34 開 あり(N=166) 1.2 発 62.0 20.5 16.3 部 101 3 207 106 なし(N=417) 署 0.7 49.6 25.4 24.2

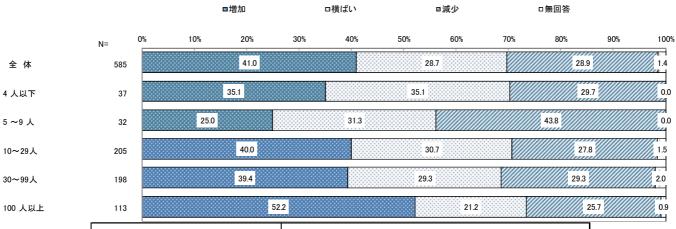
【図表1①-3 5年前との比較(売上高)・開発部署の有無別】

②営業利益

営業利益の5年前との比較について、「増加」が240件(41.0%)と最も高く、次いで「減少」が169件(28.9%)、「横ばい」が168件(28.7%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「増加」が59件(52.2%)と全体より11.2ポイント高くなっている。

【図表12-1 5年前との比較(営業利益)・従業員規模別】



			5 年前との比較/ 営業利益					
		増加	横ばい	減少	無回答			
全 体	(N=585)	240	168	169	8			
	(11 000)	41.0	28.7	28.9	1.4			
	4 人以下(N=37)	13	13	11	_			
	+ 7(Ø 1 (N 07)	35.1	35.1	29.7	_			
/24	a	8	10	14	_			
従	3 X(N=32)	25.0	31.3	43.8	_			
業員	10~29人(N=205)	82	63	57	3			
規	10 - 237((N=203)	40.0	30.7	27.8	1.5			
模	30~99人(N=198)	78	58	58	4			
	30 - 99%(14-190)	39.4	29.3	29.3	2.0			
	100 人以上(N=113)	59	24	29	1			
	100 XXX (N-110)	52.2	21.2	25.7	0.9			

独自技術の有無別にみると、『あり』で「増加」が107件(43.3%)と『なし』より5.0ポイント高くなっている。

ロ横ばい ■増加 ■減少 □無回答 10% 40% 50% 60% 100% 20% 80% N= 40.5 28.0 30.2 全 体 560 43.3 29.1 25.1 2.4 あり 247 34.2 38.3 0.3 なし 313 5 年前との比較/ 営業利益 増加 横ばい 減少 無回答 7 169 227 157 全 体(N=560) 40.5 28.0 30.2 1.3 107 72 62 6 独 あり(N=247) 25.1 2.4 自 43.3 29.1 技 120 85 107 1 なし(N=313) 術 27.2 38.3 34.2 0.3

【図表1②-2 5年前との比較(営業利益)・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「増加」が82件(49.4%)と『なし』より11.8ポイント高くなっている。

■増加 ロ横ばい ■減少 □無回答 10% 30% 50% 70% 100% 20% 40% 60% 80% N= 41.0 28.5 29.3 1.2 583 全 体 49.4 25.9 22.9 1.8 あり 166 37.6 29.5 31.9 なし 417 1.0 5 年前との比較/ 営業利益 増加 横ばい 減少 無回答 7 239 166 171 全 体(N=583) 41.0 28.5 29.3 1.2 82 38 3 43 開 あり(N=166) 発 49.4 25.9 22.9 1.8 部 133 4 157 123 なし(N=417) 署 29.5 37.6 31.9 1.0

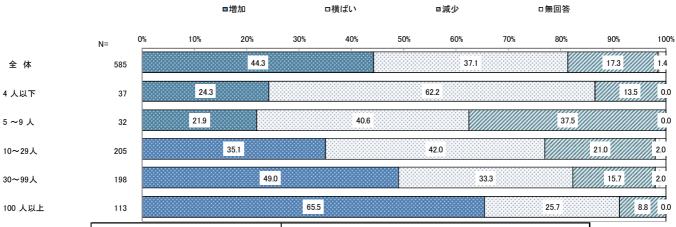
【図表12-3 5年前との比較(営業利益)・開発部署の有無別】

③従業者数

従業員数の5年前との比較について、「増加」が259件(44.3%)と最も高く、次いで「横ばい」が217件(37.1%)、「減少」が101件(17.3%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「増加」が74件(65.5%)と全体より21.2ポイント 高くなっている。

【図表1③-1 5年前との比較(従業者数)・従業員規模別】



			5 年前との比較/ 従業者数						
		増加	横ばい	減少	無回答				
全 休	(N=585)	259	217	101	8				
<u> </u>	(11-500)	44.3	37.1	17.3	1.4				
	4 人以下(N=37)	9	23	5	_				
	+ 人及 * (N=37)	24.3	62.2	13.5	_				
434	5~9人(N=32)	7	13	12	-				
従	0 1 9 X (N-02)	21.9	40.6	37.5	_				
業員	10~29人(N=205)	72	86	43	4				
規	10 - 20) (11-200)	35.1	42.0	21.0	2.0				
模	30~99人(N=198)	97	66	31	4				
	30 337(IN-130)	49.0	33.3	15.7	2.0				
	100 k lt F (N-112)	74	29	10	-				
	100 人以上(N=113)	65.5	25.7	8.8	_				

独自技術の有無別にみると、『あり』で「増加」が123件(49.8%)と『なし』より10.5ポイント高くなっている。

ロ横ばい ■増加 ■減少 □無回答 10% 20% 50% 60% 80% 90% 100% 40% N= 43.9 37.1 17.5 🖔 全 体 560 49.8 32.4 15.8 2.0 あり 247 39.3 18.8 なし 1.0 313 5 年前との比較/ 従業者数 増加 横ばい 減少 無回答 98 8 246 208 全 体(N=560) 43.9 37.1 17.5 1.4 123 80 39 5 独 あり(N=247) 15.8 2.0 自 49.8 32.4 技 123 128 59 3 なし(N=313) 術 39.3 40.9 18.8 1.0

【図表1③-2 5年前との比較(従業者数)・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「増加」が96件(57.8%)と『なし』より18.7ポイント高くなっている。

■増加 ロ横ばい □減少 □無回答 10% 30% 90% 100% 20% 40% 50% 60% 70% 80% N= 44.4 36.9 17.5 1.2 583 全 体 57.8 30.1 0.6 あり 166 39.1 39.6 19.9 1.4 なし 417 5 年前との比較/ 従業者数 増加 横ばい 減少 無回答 7 259 215 102 全 体(N=583) 44.4 36.9 17.5 1.2 19 96 50 1 開 あり(N=166) 発 57.8 30.1 11.4 0.6 部 83 163 165 6 なし(N=417) 署 39.1 39.6 19.9 1.4

【図表13-3 5年前との比較(従業者数)・開発部署の有無別】

2. 自社が保有している主な技術

自社が保有している主な技術について、「機械加工」が209件(35.7%)と最も高く、次いで「金型加工」が129件(22.1%)、「プレス加工」が125件(21.4%)と続いた。

従業員規模別にみると、「機械加工」は従業員規模が大きくなるにつれて、高くなっている。

【図表2-1 自社が保有している主な技術・従業員規模別(複数回答)】

			自社が保有している主な技術					
		鋳造·鍛造等	金型加工	機械加工	プレス加工	溶接	樹脂・ゴム成 形	表面処理・塗装・メッキ
全体	(N=585)	50	129	209	125	97	116	62
- P	(14 000)	8.5	22.1	35.7	21.4	16.6	19.8	10.6
	4 人以下(N=37)	-	4	10	2	4	4	4
	イスタド(N=07)	_	10.8	27.0	5.4	10.8	10.8	10.8
414	5 ~9 人(N=32)	1	1	9	5	6	8	1
従業	3 1-9 X(N=32)	3.1	3.1	28.1	15.6	18.8	25.0	3.1
業員	 10~29人(N=205)	13	48	72	40	31	48	14
規	10 - 29 X (N=200)	6.3	23.4	35.1	19.5	15.1	23.4	6.8
模	30~99人(N=198)	16	45	72	42	33	28	27
	00 - 007(N-190)	8.1	22.7	36.4	21.2	16.7	14.1	13.6
	100 人以上(N=113)	20	31	46	36	23	28	16
	100 人以上(N=113)	17.7	27.4	40.7	31.9	20.4	24.8	14.2

		自社が保有している主な技術							
		熱処理	配線•組立	電気・電子	通信	IT(ソフトウェ ア)	その他	無回答	
全体	(N=585)	29	94	37	1	23	71	23	
	(14-000)	5.0	16.1	6.3	0.2	3.9	12.1	3.9	
	4 人以下(N=37)	_	8	8	1	5	3	7	
	4 人及 [*(N=3/)	_	21.6	21.6	2.7	13.5	8.1	18.9	
.,,	5 ~9 人(N=32)	1	7	2	-	-	2	2	
従業	3 1 9 X (N=32)	3.1	21.9	6.3	_	_	6.3	6.3	
業員	10~29人(N=205)	3	31	13	_	4	29	5	
規	10.929X(N=200)	1.5	15.1	6.3	_	2.0	14.1	2.4	
模	30~99人(N=198)	20	26	8	_	8	22	8	
	2039/(IN-180)	10.1	13.1	4.0	_	4.0	11.1	4.0	
	100 LN F (N-112)	5	22	6	_	6	15	1	
	100 人以上(N=113)	4.4	19.5	5.3	_	5.3	13.3	0.9	

独自技術の有無別にみると、『あり』は「機械加工」が『なし』より比較的高くなっている。

【図表2-2 自社が保有している主な技術・独自技術の有無別(複数回答)】

			自社が保有している主な技術						
		鋳造•鍛造等	金型加工	機械加工	プレス加工	溶接	樹脂・ゴム成 形	表面処理・塗装・メッキ	
全 体	(N-560)	49	121	205	121	91	110	61	
土体	S(N=560)	8.8	21.6	36.6	21.6	16.3	19.6	10.9	
独	あり(N=247)	24	55	98	57	37	47	33	
自	0)9(N-247)	9.7	22.3	39.7	23.1	15.0	19.0	13.4	
技	tol (N-212)	25	66	107	64	54	63	28	
術	なし(N=313)	8.0	21.1	34.2	20.4	17.3	20.1	8.9	

自社が保有している主な技術								
		熱処理	配線・組立	電気・電子	通信	IT(ソフトウェ ア)	その他	無回答
全体	x(N=560)	28	90	31	1	19	71	19
土冲		5.0	16.1	5.5	0.2	3.4	12.7	3.4
独	あり(N=247)	16	40	19	_	11	38	9
自	0)9 (N-247)	6.5	16.2	7.7	_	4.5	15.4	3.6
技	tal (N-212)	12	50	12	1	8	33	10
術	なし(N=313)	3.8	16.0	3.8	0.3	2.6	10.5	3.2

開発部署の有無別にみると、『あり』は「金型加工」や「配線・組立」が『なし』より比較的高くなっている。

【図表2-3 自社が保有している主な技術・開発部署の有無別(複数回答)】

	1020	- 1-12 PK 13 (O:55 7115 10:55	70HF - 77 13			
	自社が保有している主な技術							
		鋳造•鍛造等	金型加工	機械加工	プレス加工	溶接	樹脂・ゴム成 形	表面処理・塗装・メッキ
全体	(N=583)	50	125	211	125	97	115	62
土件	(11-303)	8.6	21.4	36.2	21.4	16.6	19.7	10.6
開	あり(N=166)	21	42	58	28	22	32	20
発	(N=100)	12.7	25.3	34.9	16.9	13.3	19.3	12.0
部	なし(N=417)	29	83	153	97	75	83	42
署	/4U(N-41/)	7.0	19.9	36.7	23.3	18.0	19.9	10.1

			自社が保有している主な技術						
		熱処理	配線•組立	電気・電子	通信	IT(ソフトウェ ア)	その他	無回答	
全体	(N=583)	29	93	36	1	22	72	22	
土体	(N-J03)	5.0	16.0	6.2	0.2	3.8	12.3	3.8	
開	あり(N=166)	10	34	13	1	9	30	8	
発	(N-100)	6.0	20.5	7.8	0.6	5.4	18.1	4.8	
部	なし(N=417)	19	59	23	_	13	42	14	
署	なし(N-41/) 	4.6	14.1	5.5	_	3.1	10.1	3.4	

3. 自社の強み

自社の強みについて、「加工・製造技術力」が380件(65.0%)と最も高く、次いで「品質管理」が227件(38.8%)、「短納期」が183件(31.3%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』で「加工・製造技術力」が10件(27.0%)と全体より38.0 ポイント低くなっている。

【図表3-1 自社の強み・従業員規模別(複数回答)】

			自社の強み					
			加工·製造技 術力	短納期	生産効率	製品開発力	製品力	ビジネスモデ ル
全体	(N=585)	227	380	183	99	91	119	11
T	(11-300)	38.8	65.0	31.3	16.9	15.6	20.3	1.9
	/ / IN To (N=27)	14	10	11	2	12	5	-
	4 人以下(N=37)	37.8	27.0	29.7	5.4	32.4	13.5	_
	5~9 人(N=32)	13	16	12	5	2	6	_
従	5 ~9 X(N-32)	40.6	50.0	37.5	15.6	6.3	18.8	_
業員	10~29人(N=205)	65	143	75	30	36	39	3
規	10~29X(N=200)	31.7	69.8	36.6	14.6	17.6	19.0	1.5
模	30~99人(N=198)	88	135	63	36	17	34	3
^~	20.~88V(IN-188)	44.4	68.2	31.8	18.2	8.6	17.2	1.5
	100 人以上(N=113)	47	76	22	26	24	35	5
	100 人以工(N-113)	41.6	67.3	19.5	23.0	21.2	31.0	4.4

			自社の強み						
		マーケティン グカ	営業力	情報収集力		人的ネット ワークカ	その他	無回答	
全体	(N=585)	6	58	13	140	28	7	22	
		1.0	9.9	2.2	23.9	4.8	1.2	3.8	
	4 1 N T (N=27)	1	1	2	7	2	2	6	
	4 人以下(N=37)	2.7	2.7	5.4	18.9	5.4	5.4	16.2	
.,,	5~9 人(N=32)	_	4	1	8	1	_	2	
従	3 × 9 X(N=32)	_	12.5	3.1	25.0	3.1	_	6.3	
業員	10~29人(N=205)	1	19	6	50	9	-	5	
規	10 237(11-203)	0.5	9.3	2.9	24.4	4.4	_	2.4	
模	30~99人(N=198)	2	19	1	49	11	3	6	
	30 - 99X (N=198)	1.0	9.6	0.5	24.7	5.6	1.5	3.0	
	100 人以上(N=113)	2	15	3	26	5	2	3	
	100 XXX (N=113)	1.8	13.3	2.7	23.0	4.4	1.8	2.7	

独自技術の有無別にみると、『あり』で「製品力」や「製品開発力」が『なし』より20ポイント 前後高くなっている。反面、『なし』で「短納期」が『あり』より11.4ポイント高くなっている。

【図表3-2 自社の強み・独自技術の有無別(複数回答)】

			自社の強み						
		品質管理	加工·製造技 術力	短納期	生産効率	製品開発力	製品力	ビジネスモデル	
全 体	(N=560)	220	368	174	96	79	118	11	
土作	(N-300)	39.3	65.7	31.1	17.1	14.1	21.1	2.0	
独	あり(N=247)	88	178	61	44	60	86	9	
自	0)9 (N-247)	35.6	72.1	24.7	17.8	24.3	34.8	3.6	
技	tol (N=212)	132	190	113	52	19	32	2	
術	なし(N=313)	42.2	60.7	36.1	16.6	6.1	10.2	0.6	

			自社の強み						
		マーケティン グカ	営業力	情報収集力	現場力	人的ネット ワークカ	その他	無回答	
全体	(N=560)	6	56	12	132	25	7	19	
T	(14-300)	1.1	10.0	2.1	23.6	4.5	1.3	3.4	
独	あり(N=247)	5	25	6	52	8	3	7	
自	0)9 (N-247)	2.0	10.1	2.4	21.1	3.2	1.2	2.8	
技	なし(N=313)	1	31	6	80	17	4	12	
術	ない(N-313)	0.3	9.9	1.9	25.6	5.4	1.3	3.8	

開発部署の有無別にみると、『あり』で「製品力」や「製品開発力」が『なし』より10ポイント 以上高くなっている。

【図表3-3 自社の強み・開発部署の有無別(複数回答)】

			自社の強み					
		品質管理	加工·製造技 術力	短納期	生産効率	製品開発力	製品力	ビジネスモデ ル
全体	(N=583)	225	380	180	99	90	119	11
土冲	(N-J03)	38.6	65.2	30.9	17.0	15.4	20.4	1.9
開	あり(N=166)	70	112	46	23	49	47	5
発	(N-100)	42.2	67.5	27.7	13.9	29.5	28.3	3.0
部	なし(N=417)	155	268	134	76	41	72	6
署	なし(N-417) 	37.2	64.3	32.1	18.2	9.8	17.3	1.4

			自社の強み						
		マーケティン グカ	営業力	情報収集力	現場力	人的ネット ワークカ	その他	無回答	
全体	(N=583)	7	60	14	139	28	7	21	
土体	(N-J03)	1.2	10.3	2.4	23.8	4.8	1.2	3.6	
開	あり(N=166)	6	23	5	34	7	2	6	
発	(N-100)	3.6	13.9	3.0	20.5	4.2	1.2	3.6	
部	なし(N=417)	1	37	9	105	21	5	15	
署	ない(N-417)	0.2	8.9	2.2	25.2	5.0	1.2	3.6	

4. 自社の生産形態

自社の生産形態について、「発注者の図面に基づき加工・生産」が381件(65.1%)と最も高く、次いで「発注者の仕様に基づき、自社で設計、図面等を作成して加工・生産」が245件(41.9%)、「発注者より材料、金型を支給されて生産」が155件(26.5%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』で「発注者の図面に基づき加工・生産」が13件(35.1%)と全体より30.0ポイント低くなっている。

【図表4-1 自社の生産形態・従業員規模別(複数回答)】

		1				
			É	自社の生産形態	<u>į</u>	
		自社の仕様で加工・生産	発注者の仕様に基づき、 自社で設計、図面等を 作成して加工・生産	発注者の図 面に基づき 加工・生産	発注者より 材料、金型を 支給されて 生産	無回答
全 体 (N=585)		125	245	381	155	
		21.4	41.9	65.1	26.5	3.9
	 4 人以下(N=37)	10	14	13	5	6
	4 人以下(N-37)	27.0	37.8	35.1	13.5	16.2
۸.۷	 5 ~9 人(N=32)	6	16	21	10	_
従業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	18.8	50.0	65.6	31.3	_
業員	 10~29人(N=205)	45	86	138	59	4
規	10 200(N-200)	22.0	42.0	67.3	28.8	2.0
模	30~99人(N=198)	35	71	138	59	8
12	30 - 337((N-130)	17.7	35.9	69.7	29.8	4.0
	100 人以上(N=113)	29	58	71	22	5
	TOO 人以工(N-113)	25.7	51.3	62.8	19.5	4.4

独自技術の有無別にみると、『あり』で「自社の仕様で加工・生産」が77件(31.2%)と『なし』より18.1ポイント高くなっている。

【図表4-2 自社の生産形態・独自技術の有無別(複数回答)】

			E	自社の生産形態	į.	
		自社の仕様 で加工・生産	発注者の仕様に基づき、自社で設計、図面等を作成して加工・生産	発注者の図 面に基づき 加工・生産	発注者より 材料、金型を 支給されて 生産	無回答
全体	(N=560)	118	238	371	152	13
	(11-500)	21.1	42.5	66.3	27.1	2.3
独	 あり(N=247)	77	130	151	56	4
自	W) 7 (N-247)	31.2	52.6	61.1	22.7	1.6
技	なし(N=313)	41	108	220	96	9
術	ない(IN-313)	13.1	34.5	70.3	30.7	2.9

開発部署の有無別にみると、『あり』で「自社の仕様で加工・生産」が60件(36.1%)と『なし』より20.5ポイント高くなっている。

【図表4-3 自社の生産形態・開発部署の有無別(複数回答)】

		自社の生産形態						
		自社の仕様で加工・生産	発注者の仕様に基づき、 自社で設計、図面等を 作成して加工・生産	発注者の図 面に基づき 加工・生産	発注者より 材料、金型を 支給されて 生産	無回答		
全 体	(N=583)	125	245	382	155		20	
r		21.4	42.0	65.5	26.6		3.4	
開	あり(N=166)	60	91	99	39		4	
発	859 (14-100)	36.1	54.8	59.6	23.5		2.4	
部	なし(N=417)	65	154	283	116		16	
署	GC (N-417)	15.6	36.9	67.9	27.8		3.8	

5. 自社独自技術の有無

自社独自技術の有無について、「なし」が311件(53.2%)と、「あり」の241件(41.2%)を 上回った。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「あり」が68件(60.2%)と全体より19.0ポイント高くなっている。

□なし ■無回答 90% 100% 0% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 5.6 41.2 53.2 全 体 585 24.3 13.5 62.2 4 人以下 37 25.0 71.9 5~9人 3.1 7.3 38.0 54.6 10~29人 205 39.4 56.1 30~99人 198 60.2 37.2 2.7 100 人以上 113 自社独自技術の有無 あり なし 無回答 241 311 33 全 体(N=585) 41.2 53.2 5.6 9 23 5 4 人以下(N=37) 24.3 62.2 13.5 8 23 1 5 ~9 人(N=32) 従 25.0 3.1 71.9 業 78 112 15 員 10~29人(N=205) 38.0 54.6 7.3 規 78 111 9 模 30~99人(N=198) 39.4 56.1 4.5

68

60.2

100 人以上(N=113)

42

37.2

3

2.7

【図表5-1 自社独自技術の有無・従業員規模別】

開発部署の有無別にみると、『(開発部署の有無で)あり』で「(自社独自技術の有無で)あり」が111件(66.9%)と『(開発部署の有無で)なし』より35.0ポイント高くなっている。

ロなし ■無回答 ■あり 10% 30% 50% 100% 20% 40% 60% 70% 80% N= 4.5 41.9 53.7 全 体 583 4.2 66.9 28.9 あり 166 4.6 31.9 63.5 なし 417 自社独自技術の有無 あり なし 無回答 244 313 26 全 体(N=583) 41.9 53.7 4.5 7 111 48 開 あり(N=166) 発 66.9 28.9 4.2 部 133 265 19 なし(N=417) 署 31.9 63.5 4.6

【図表5-2 自社独自技術の有無・開発部署の有無別】

6. 試作品受注の有無

試作品受注の有無について、「あり」が410件(70.1%)と最も高く、次いで「なし」が113件(19.3%)、「ないが受注可能」が51件(8.7%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』で「あり」が20件(54.1%)と全体より16.0ポイント低くなっている。

□ないが受注可能 □なし □無回答 10% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 0% 20% 30% 40% 19.3 70.1 8.7 1.9 全 体 585 54.1 32.4 4 人以下 37 71.9 18.8 9.4 nη 5~9人 32 69.3 12.7 17.6 0.5 10~29人 205 68.7 3.0 30~99人 198 78.8 100 人以上 2.7 3 17.7 113 0.9

【図表6-1 試作品受注の有無・従業員規模別】

			試作品受	注の有無	
		あり	ないが受注 可能	なし	無回答
全 休	(N=585)	410	51	113	11
_ IT	(11 000)	70.1	8.7	19.3	1.9
	4 人以下(N=37)	20	2	12	3
	4 人以 [*(N=37)	54.1	5.4	32.4	8.1
	5~9人(N=32)	23	3	6	_
従	0 0 9C(N=02)	71.9	9.4	18.8	_
業員	10~29人(N=205)	142	26	36	1
規	10 - 25X(N-200)	69.3	12.7	17.6	0.5
模	30~99人(N=198)	136	17	39	6
	397(11-198)	68.7	8.6	19.7	3.0
	100 人以上(N=113)	89	3	20	1
	100 八灰工(N-113)	78.8	2.7	17.7	0.9

独自技術の有無別にみると、『(自社独自技術の有無で)あり』で「(試作品受注の有無で)あり」が191件(77.3%)と『(自社独自技術の有無で)なし』より10.8ポイント高くなっている。

■あり ロないが受注可能 **□**なし □無回答 10% 40% 50% 60% 70% 80% 20% 100% N= 71.3 8.9 19.6 0.2 全 体 560 77.3 15.8 6.9 あり 247 0.0 66.5 10.5 22.7 0.3 なし 313 試作品受注の有無 ないが受注 あり なし 無回答 可能 110 399 50 全 体(N=560) 71.3 19.6 0.2 8.9 191 17 39 独 あり(N=247) 自 77.3 6.9 15.8 技 208 33 71 1 なし(N=313) 絥 66.5 10.5 22.7 0.3

【図表6-2 試作品受注の有無・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『(開発部署の有無で)あり』で「(試作品受注の有無で)あり」が136件(81.9%)と『(開発部署の有無で)なし』より15.7ポイント高くなっている。

【図表6-3 試作品受注の有無・開発部署の有無別】 ロないが受注可能 ■あり ■なし □無回答 10% 50% 60% 20% 30% 40% 70% 80% 100% N= 70.7 19.2 1.2 583 全 体 81.9 1.2 あり 166 66.2 10.8 21.8 なし 417 1.2 試作品受注の有無 ないが受注 なし あり 無回答 可能 7 412 52 112 全 体(N=583) 70.7 8.9 19.2 1.2 7 21 2 136 開 あり(N=166) 1.2 発 81.9 4.2 12.7 部 5 276 45 91 なし(N=417) 署 66.2 10.8 21.8 1.2

7. 研究開発のための部署の有無

研究開発のための部署の有無について、「なし」が413件(70.6%)と、「あり」164件(28.0%)を大きく上回った。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「あり」が62件(54.9%)と全体より26.9ポイント高くなっている。

□なし 0% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% .77 28.0 70.6 全 体 1.4 585 5.4 18.9 4 人以下 37 12.5 87.5 5~9人 0.0 17.6 81.5 1.0 10~29人 205 111 27.8 70.2 30~99人 198 2.0 54.9 100 人以上 113 45.1 0.0 研究開発のための部署の有無 あり なし 無回答 164 413 8 全 体(N=585) 28.0 70.6 1.4 7 28 4 人以下(N=37) 18.9 75.7 5.4 4 28 5 ~9 人(N=32) 従 12.5 87.5 業 2 36 167 員 10~29人(N=205) 17.6 81.5 1.0 規 55 139 4 模 30~99人(N=198)

27.8

54.9

100 人以上(N=113)

62

70.2

45.1

51

2.0

【図表7-1 研究開発のための部署の有無・従業員規模別】

独自技術の有無別にみると、『(独自技術の有無で)あり』で「(開発部署の有無で)あり」が 111件(44.9%)と『(独自技術の有無で)なし』より29.6ポイント高くなっている。

■あり ロなし ■無回答 20% 10% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 100% N= 28.4 71.1 0.5 全 体 560 44.9 53.8 1.2 あり 247 15.3 84.7 0.0 なし 313 研究開発のための部署の有無 あり なし 無回答 159 398 3 全 体(N=560) 28.4 71.1 0.5 111 133 3 独 あり(N=247) 自 44.9 53.8 1.2 技 48 265 なし(N=313) 術 15.3 84.7

【図表7-2 研究開発のための部署の有無・独自技術の有無別】

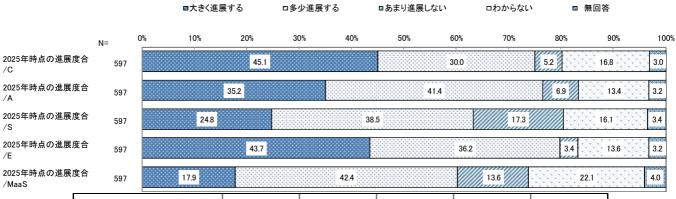
②CASE及びMaaSの影響について

8. CASEやMaaSの進展と自社への影響

①2025年時点の進展度合

CASEやMaaSの2025年時点の進展度合について「大きく発展する」と考えられているのは、 『C(コネクテッド)』が269件(45.1%)と最も高く、次いで『E(電動化)』が261件 (43.7%)、『A(自動運転)』が210件(35.2%)と続いた。

【図表8①-1 2025年時点の進展度合】



	大きく進展する	多少進展する	あまり進展し ない	わからない	無回答
2025年時点の進展度合	269	179	31	100	18
/C(N=597)	45.1	30.0	5.2	16.8	3.0
2025年時点の進展度合	210	247	41	80	19
/A(N=597)	35.2	41.4	6.9	13.4	3.2
2025年時点の進展度合	148	230	103	96	20
/S(N=597)	24.8	38.5	17.3	16.1	3.4
2025年時点の進展度合	261	216	20	81	19
/E(N=597)	43.7	36.2	3.4	13.6	3.2
2025年時点の進展度合	107	253	81	132	24
/MaaS (N=597)	17.9	42.4	13.6	22.1	4.0

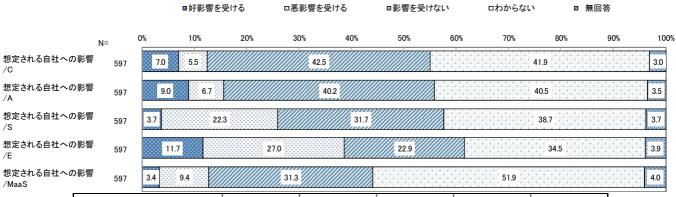
②想定される自社への影響

CASEやMaaSの想定される自社への影響について、「好影響を受ける」と考えられている割合は、『E(電動化)』が70件(11.7%)と最も高く、次いで『A(自動運転)』が54件(9.0%)といずれも低い結果となった。

反対に、「悪影響を受ける」と考えられている割合は、『E(電動化)』が161件(27.0%)と 最も高く、次に『S(シェアリング&サービス)』が133件(22.3%)となっている。

ただし、いずれの項目についても自社への影響は「わからない」との回答が多く、現時点では CASEやMaaSの影響を想定できていない自動車関連企業が多いことがうかがえる。

【図表82-1 想定される自社への影響】



	好影響を受ける	悪影響を受ける	影響を受けない	わからない	無回答
想定される自社への影響	42	33	254	250	18
/C(N=597)	7.0	5.5	42.5	41.9	3.0
想定される自社への影響	54	40	240	242	21
/A(N=597)	9.0	6.7	40.2	40.5	3.5
想定される自社への影響	22	133	189	231	22
/S(N=597)	3.7	22.3	31.7	38.7	3.7
想定される自社への影響	70	161	137	206	23
/E(N=597)	11.7	27.0	22.9	34.5	3.9
想定される自社への影響	20	56	187	310	24
/MaaS (N=597)	3.4	9.4	31.3	51.9	4.0

9. CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組

CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組について、「何も行っていない」が299件 (51.1%) と最も高く、次いで「新規の営業先の開拓」が144件(24.6%)、「新分野・異業種分野への進出」が117件(20.0%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』では「何も行っていない」が41件(36.3%)と全体より 14.8ポイント低く、CASEやMaaSの進展に対応した何らかの取組を行っている企業の割合が少し 高くなっている。

【図表9-1 CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組・従業員規模別(複数回答)】

			CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組							
		先の開拓		新分野・異業 種分野への 進出	次世代自動 車部品の量 産	何も行ってい ない	その他	無回答		
全 体	(N=585)	144	67	117	51	299	17	32		
PT	(11 000)	24.6	11.5	20.0	8.7	51.1	2.9	5.5		
	 4 人以下(N=37)	5	2	5	2	20	1	6		
	+ XX (N 0/)	13.5	5.4	13.5	5.4	54.1	2.7	16.2		
/77	 5~9人(N=32)	1	2	4	-	21	3	3		
従	3 × 3 X(N=32)	3.1	6.3	12.5	_	65.6	9.4	9.4		
業員	10~29人(N=205)	48	16	36	15	119	7	10		
規	10 257(11-205)	23.4	7.8	17.6	7.3	58.0	3.4	4.9		
模	30~99人(N=198)	54	23	43	20	98	2	8		
	30 307(N-130)	27.3	11.6	21.7	10.1	49.5	1.0	4.0		
	100 人以上(N=113)	36	24	29	14	41	4	5		
	100 XX 1N-110)	31.9	21.2	25.7	12.4	36.3	3.5	4.4		

独自技術の有無別にみると、『あり』で「新分野・異業種分野への進出」や「新規の営業先の開拓」、「次世代自動車部品の試作品の研究・開発」が『なし』より10ポイント以上高くなっている。

【図表9-2 CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組・独自技術の有無別(複数回答)】

			CAS	SEやMaaSの進	展に対応して	実施している耳	文組	
		新規の営業 先の開拓	次世代自動 車部品の試 作品の研究・ 開発	新分野・異業 種分野への 進出	次世代自動 車部品の量 産	何も行ってい ない	その他	無回答
全体	(N=560)	137	67	112	52	289	18	25
王 冲	(11-500)	24.5	12.0	20.0	9.3	51.6	3.2	4.5
独	あり(N=247)	78	46	70	28	95	11	12
自	0)9(N-247)	31.6	18.6	28.3	11.3	38.5	4.5	4.9
技		59	21	42	24	194	7	13
術	なし(N-313)	18.8	6.7	13.4	7.7	62.0	2.2	4.2

開発部署の有無別にみると、『あり』で「新分野・異業種分野への進出」や「新規の営業先の開拓」、「次世代自動車部品の試作品の研究・開発」が『なし』より20ポイント前後高くなっている。

【図表9-3 CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組・開発部署の有無別(複数回答)】

			CASEやMaaSの進展に対応して実施している取組								
			次世代自動 車部品の試 作品の研究・ 開発	新分野・異業 種分野への 進出	次世代自動 車部品の量 産	何も行ってい ない	その他	無回答			
全 体	(N=583)	143	68	115	52	301	17	3			
土体	(N-303)	24.5	11.7	19.7	8.9	51.6	2.9	5.			
開	あり(N=166)	62	42	60	18	50	5				
発	(N-100)	37.3	25.3	36.1	10.8	30.1	3.0	4.			
部		81	26	55	34	251	12	2			
署	なし(N-41/) 	19.4	6.2	13.2	8.2	60.2	2.9	5.			

10. CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導

CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導では、「無回答」を除き、「直接納入している取引先」が118件(20.2%)と最も高く、次いで「自動車メーカー」が39件(6.7%)と続いた。

「無回答」は選択要因が多様で一概に分析できないものの、他の設問と比べて割合が非常に高いことから、アドバイスや指導を受けていない企業が多いことがうかがえる。

従業員規模別にみると、『100人以上』では「無回答」が67件(59.3%)と全体より12.0ポイント低く、CASEやMaaSの進展について何らかのアドバイスや指導を受けている企業の割合が少し高くなっている。

【図表10-1 CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導・従業員規模別(複数回答)】

		CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導							
		自動車メーカー	直接納入し ている取引 先	外部の専門 家	その他	無回答			
全 休	(N=585)	39	118	26	22	417			
PT	(14 000)	6.7	20.2	4.4	3.8	71.3			
	4 人以下(N=37)	-	4	-	1	32			
	+ 人及 * (N=37)	_	10.8	_	2.7	86.5			
	 5 ~9 人(N=32)	2	2	_	1	27			
従	5 1-9 X (N=32)	6.3	6.3	_	3.1	84.4			
業員	10~29人(N=205)	8	42	7	8	150			
規規	10~29X(N-200)	3.9	20.5	3.4	3.9	73.2			
模	2000 L (N=100)	13	42	10	7	141			
	30~99人(N=198)	6.6	21.2	5.1	3.5	71.2			
	100 LN F (N=112)	16	28	9	5	67			
	100 人以上(N=113)	14.2	24.8	8.0	4.4	59.3			

独自技術の有無別にみると、『あり』で「自動車メーカー」や「直接納入している取引先」が 『なし』より10ポイント弱高くなっている。

【図表10-2 CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導・独自技術の有無別(複数回答)】

		C	ASEやMaaSの	進展について	アドバイスや指	導
		自動車メーカー	直接納入し ている取引 先	外部の専門 家	その他	無回答
全体	(N=560)	37	117	25	24	393
工作	(11-300)	6.6	20.9	4.5	4.3	70.2
独	あり(N=247)	29	63	14	17	150
自	0)9 (N-247)	11.7	25.5	5.7	6.9	60.7
技	なし(N=313)	8	54	11	7	243
術	4C(N-313)	2.6	17.3	3.5	2.2	77.6

開発部署の有無別にみると、『あり』で「自動車メーカー」が23件(13.9%)と『なし』より 10.1ポイント高くなっている。

【図表10-3 CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導・開発部署の有無別(複数回答)】

		C/	CASEやMaaSの進展についてアドバイスや指導							
		自動車メーカー	直接納入し ている取引 先	外部の専門 家	その他	無回答				
全体	(N=583)	39	118	27	23	413				
土件	(N-303)	6.7	20.2	4.6	3.9	70.8				
開	あり(N=166)	23	40	16	11	98				
発	(N-100)	13.9	24.1	9.6	6.6	59.0				
部	なし(N=417)	16	78	11	12	315				
署	なし(N-41/) 	3.8	18.7	2.6	2.9	75.5				

11. CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項

CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項について、「無回答」が233件 (39.8%) と最も高く、次いで「設備投資への支援」が186件(31.8%)、「人材育成支援」が115件(19.7%)と続いた。

従業員100人未満の企業をみると、上位の順位は変わらないが、100人以上と比べて「技術指導・相談」や「販路開拓支援」、「資金面での支援」を回答した企業の割合も相対的に高くなっており、規模の小さな企業は幅広い支援を期待していることがうかがえる。

【図表11-1 CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項・従業員規模別(複数回答)】

			CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項							
		技術指導•相談	産学官連携	人材育成支 援	新製品•試作 品開発支援	企業間連携・ 活動支援	設備投資への支援	インフラ整備 (充電器、水 素ステーショ ン)		
全 体	(N=585)	79	68	115	79	101	186	57		
		13.5	11.6	19.7	13.5	17.3	31.8	9.7		
	4 人以下(N=37)	5	3	4	2	5	6	3		
	17021 (11 07)	13.5	8.1	10.8	5.4	13.5	16.2	8.1		
<u>۲۷</u>	 5~9人(N=32)	2	-	4	1	1	6	4		
従 業	o 7(((02)	6.3	_	12.5	3.1	3.1	18.8	12.5		
人 員	 10~29人(N=205)	27	14	27	30	29	65	16		
規	20)(((1 200)	13.2	6.8	13.2	14.6	14.1	31.7	7.8		
模		35	34	48	21	35	69	25		
		17.7	17.2	24.2	10.6	17.7	34.8	12.6		
	100 人以上(N=113)	10	17	32	25	31	40	9		
		8.8	15.0	28.3	22.1	27.4	35.4	8.0		

			CASEや	MaaSの進展へ	の対応で県に	対する意見・弱	要望事項	
		証実験への	CASE、MaaS 分野の企業 誘致	販路開拓支援(展示会出展支援等)	自動走行・安 全技術の実 証実験への 支援	資金面での 支援	その他	無回答
全 体	(N=585)	47	9	73	24	63	21	233
	,,	8.0	1.5	12.5	4.1	10.8	3.6	39.8
	 4 人以下(N=37)	1	-	4	-	4	_	24
	4 人以下(N=37)	2.7	_	10.8	_	10.8	_	64.9
	5~9人(N=32)	1	-	2	3	3	-	17
従	0 3 7(11 02)	3.1	_	6.3	9.4	9.4	_	53.1
業員	10~29人(N=205)	10	6	23	7	22	9	90
規	10 237(11-203)	4.9	2.9	11.2	3.4	10.7	4.4	43.9
模	30~99人(N=198)	16	2	27	10	24	9	65
		8.1	1.0	13.6	5.1	12.1	4.5	32.8
	100 人以上(N=113)	19	1	17	4	10	3	37
	100 XXX (N-113)	16.8	0.9	15.0	3.5	8.8	2.7	32.7

独自技術の有無別にみると、『あり』で「研究開発・実証実験への支援」が32件(13.0%)と 『なし』より9.2ポイント高くなっている。

【図表11-2 CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項・独自技術の有無別(複数回答)】

			CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項							
		技術指導•相 談	産学官連携	人材育成支 援	新製品·試作 品開発支援		設備投資への支援	インフラ整備 (充電器、水 素ステーショ ン)		
全 体	(N=560)	75	67	111	77	98	185	57		
土作	(N-500)	13.4	12.0	19.8	13.8	17.5	33.0	10.2		
独	あり(N=247)	38	37	55	46	53	84	22		
自	0)9 (N-247)	15.4	15.0	22.3	18.6	21.5	34.0	8.9		
技		37	30	56	31	45	101	35		
術	4C(N-313)	11.8	9.6	17.9	9.9	14.4	32.3	11.2		

			CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項							
			CASE、MaaS 分野の企業 誘致	販路開拓支援(展示会出展支援等)		資金面での 支援	その他	無回答		
全 体	(N=560)	44	9	72	24	62	21	215		
土冲	(N-300)	7.9	1.6	12.9	4.3	11.1	3.8	38.4		
独	あり(N=247)	32	5	39	8	28	14	82		
自	0)9(N-247)	13.0	2.0	15.8	3.2	11.3	5.7	33.2		
	技 なし(N=313)	12	4	33	16	34	7	133		
術	4C(N-313)	3.8	1.3	10.5	5.1	10.9	2.2	42.5		

開発部署の有無別にみると、『あり』で「研究開発・実証実験への支援」が27件(16.3%)と『なし』より11.7ポイント高くなっている。

【図表11-3 CASEやMaaSの進展への対応で県に対する意見・要望事項・開発部署の有無別(複数回答)】

	•	1	0.405.14	M 00米日	0 H C T I	- 	E #1 書 * E	
			CASETO	MaaSの進展へ	の対心で県に	- 対する思見・5	岁 至争垻	
		技術指導・相談	産学官連携	人材育成支 援	新製品·試作 品開発支援	企業間連携・ 活動支援	設備投資への支援	インフラ整備 (充電器、水 素ステーショ ン)
全 体	(N=583)	77	68	114	79	102	188	57
土 14	(N-003)	13.2	11.7	19.6	13.6	17.5	32.2	9.8
開	あり(N=166)	24	29	41	37	38	63	14
発	009 (N-100)	14.5	17.5	24.7	22.3	22.9	38.0	8.4
部	なし(N=417)	53	39	73	42	64	125	43
署	GC(N-417)	12.7	9.4	17.5	10.1	15.3	30.0	10.3

			CASEや	MaaSの進展へ	の対応で県に	対する意見・	要望事項	
			CASE、MaaS 分野の企業 誘致	垤/ 屈テ合业	自動走行・安 全技術の実 証実験への 支援	資金面での 支援	その他	無回答
全 体	(N=583)	46	9	73	24	64	21	230
土油	(N-303)	7.9	1.5	12.5	4.1	11.0	3.6	39.5
開	あり(N=166)	27	2	28	6	20	8	49
発	(N-100)	16.3	1.2	16.9	3.6	12.0	4.8	29.5
部	なし(N=417)	19	7	45	18	44	13	181
署	なし(N-41/) 	4.6	1.7	10.8	4.3	10.6	3.1	43.4

③取組状況、事業方針について

12. 今後3~5年間の事業の見通し

今後3~5年間の事業の見通しについて、「現在の事業規模を維持」が345件(59.0%)と最も高く、次いで「事業規模の拡大」が182件(31.1%)、「新規事業への転換」が70件(12.0%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「事業規模の拡大」が51件(45.1%)と全体より 14.0ポイント高くなっている。

	【四秋12-1		, JT	ロマンナネ	マンプした。		:只小小大	אאצוו נינ		
					今後3~	5年間の事業	の見通し			
		事業規模の 拡大	現在の事業 規模を維持	事業規模の 縮小	新規事業へ の転換	分社化	第二創業	事業の譲渡	休業または 廃業	無回答
全 体	(N=585)	182	345	52	70	15	12	14	8	16
- m	(14-000)	31.1	59.0	8.9	12.0	2.6	2.1	2.4	1.4	2.7
	4 人以下(N=37)	10	17	3	5	-	1	2	1	4
	17/2/ (1/ 0//	27.0	45.9	8.1	13.5	_	2.7	5.4	2.7	10.8
	5 ~9 人(N=32)	7	19	5	2	-	-	2	2	-
従	0 0 X(N-02)	21.9	59.4	15.6	6.3	_	_	6.3	6.3	_
業員	10~29人(N=205)	51	135	21	23	5	4	5	4	4
規	10 237((14-200)	24.9	65.9	10.2	11.2	2.4	2.0	2.4	2.0	2.0
模	30~99人(N=198)	63	115	20	22	8	5	2	-	5
	00 33)((14-130)	31.8	58.1	10.1	11.1	4.0	2.5	1.0	_	2.5
	100 人以上(N=113)	51	59	3	18	2	2	3	1	3
	100 / 5 / (1-110)	45.1	52.2	2.7	15.9	1.8	1.8	2.7	0.9	2.7

【図表12-1 今後3~5年間の事業の見通し・従業員規模別(複数回答)】

独自技術の有無別にみると、『あり』で「事業規模の拡大」が107件(43.3%)と『なし』より 20.6ポイント高くなっている。

	1四秋12-2	フ1タンへ	~ 3 牛間	少争来り	元迪し	, 12 H 13	いりりつわき	ボクリ (下夕	数凹音	1
					今後3~	5年間の事業	の見通し			
		事業規模の 拡大	現在の事業 規模を維持	事業規模の 縮小	新規事業へ の転換	分社化	第二創業	事業の譲渡	休業または 廃業	無回答
全 体	(N=560)	178	329	53	66	15	12	13	9	12
土 14	(N-300)	31.8	58.8	9.5	11.8	2.7	2.1	2.3	1.6	2.1
独	あり(N=247)	107	129	18	31	8	8	5	3	4
自	009 (N-247)	43.3	52.2	7.3	12.6	3.2	3.2	2.0	1.2	1.6
技	なし(N=313)	71	200	35	35	7	4	8	6	8
術	/4C(N-313)	22.7	63.9	112	112	22	1 3	2.6	1 9	2.6

【図表12-2 今後3~5年間の事業の見诵し、独白技術の有無別(複数回答)】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「事業規模の拡大」が84件(50.6%)と『なし』より 26.6ポイント高くなっている。

【図表12-3 今後3~5年間の事業の見通し・開発部署の有無別(複数回答)】

					今後3~	5年間の事業	の見通し			
事業規模の 拡大 現模を維持 縮小 新規事業へ の転換 分社化 第二創業 事業の記									休業または 廃業	無回答
全体	(N=583)	184	341	54	69	15	12	14	9	14
土件	(14-303)	31.6	58.5	9.3	11.8	2.6	2.1	2.4	1.5	2.4
開	あり(N=166)	84	77	10	28	6	4	2	1	2
発	355 (N=100)	50.6	46.4	6.0	16.9	3.6	2.4	1.2	0.6	1.2
部	なし(N=417)	100	264	44	41	9	8	12	8	12
署	プレ(N-417)	24.0	63.3	10.6	9.8	2.2	1.9	2.9	1.9	2.9

13. 今後3~5年間に力を入れていく取組

今後3~5年間に力を入れていく取組について、「人材の育成」が263件(45.0%)と最も高く、次いで「生産効率の向上」が180件(30.8%)、「人材の採用」が153件(26.2%)と続いた。 従業員規模別にみると、『4人以下』では「人材の育成」が7件(18.9%)と全体より26.1ポイント低くなっており、5人以上の企業と比較して大きな乖離がみられる。

【図表13-1 今後3~5年間に力を入れていく取組・従業員規模別(複数回答)】

					今後	3~5年間に	りを入れていく	取組			
		保有技術の 高度化	新技術の導 入	新製品の開発	他分野での 新事業の開 拓	生産能力の 増強			取引先との 関係強化	国内の販路 開拓	海外の販路 開拓
仝 休	(N=585)	142	77	87	42	100	14	22	117	60	24
- m	(14-000)	24.3	13.2	14.9	7.2	17.1	2.4	3.8	20.0	10.3	4.1
	4 人以下(N=37)	5	3	3	3	5	-	-	6	5	-
	T 7/2/ (N-07)	13.5	8.1	8.1	8.1	13.5	_	_	16.2	13.5	_
	5~9人(N=32)	5	1	1	3	3	-	-	10	3	-
従	5 - 5 X(N-52)	15.6	3.1	3.1	9.4	9.4	_	_	31.3	9.4	_
業員	10~29人(N=205)	50	24	30	16	43	3	4	38	25	8
規	10 - 297(11-203)	24.4	11.7	14.6	7.8	21.0	1.5	2.0	18.5	12.2	3.9
模	30~99人(N=198)	50	28	27	9	27	8	11	42	17	9
-	20 22 V (IN-120)	25.3	14.1	13.6	4.5	13.6	4.0	5.6	21.2	8.6	4.5
	100 人以上(N=113)	32	21	26	11	22	3	7	21	10	7
	100 XXX (N-113)	28.3	18.6	23.0	9.7	19.5	2.7	6.2	18.6	8.8	6.2

					今後3~5年	∓間に力を入∤	いていく取組			
		人材の採用	人材の育成	他社・大学等との連携	生産効率の 向上	14 苯基酚		経営体制の 強化	その他	無回答
全 体	(N=585)	153	263	7	180	55	10	67	3	63
_ PT-	(11 000)	26.2	45.0	1.2	30.8	9.4	1.7	11.5	0.5	10.8
	4 人以下(N=37)	9	7	3	8	7	1	4	1	7
	4 人以下(N-3/)	24.3	18.9	8.1	21.6	18.9	2.7	10.8	2.7	18.9
	5~9人(N=32)	10	15	-	10	2	1	3	_	3
従	5 ~9 \(\(\n-32\)	31.3	46.9	_	31.3	6.3	3.1	9.4	-	9.4
業員	10~29人(N=205)	62	95	1	66	26	6	25	-	18
規	10~29入(N-205)	30.2	46.3	0.5	32.2	12.7	2.9	12.2	-	8.8
模	2000 L (N=100)	47	90	2	61	15	2	25	2	26
	30~99人(N=198)	23.7	45.5	1.0	30.8	7.6	1.0	12.6	1.0	13.1
	100 L DL F (N=110)	25	56	1	35	5	-	10	-	9
	100 人以上(N=113)	22.1	49.6	0.9	31.0	4.4	-	8.8	-	8.0

独自技術の有無別にみると、『あり』で「保有技術の高度化」や「新製品の開発」が『なし』より10ポイント以上高くなっている。反面、『なし』で「人材の育成」や「生産効率の向上」が『あり』より10ポイント以上高くなっている。

【図表13-2 今後3~5年間に力を入れていく取組・独自技術の有無別(複数回答)】

					今後	3~5年間に	りを入れていく	取組			
		保有技術の 高度化	新技術の導 入		他分野での 新事業の開 拓	生産能力の 増強			取引先との 関係強化	国内の販路 開拓	海外の販路 開拓
仝 体	(N-560)	135	74	85	41	96	13	22	112	60	24
全 体(N=560)		24.1	13.2	15.2	7.3	17.1	2.3	3.9	20.0	10.7	4.3
独	あり(N=247)	79	45	64	15	45	5	17	41	28	17
自	009 (N-247)	32.0	18.2	25.9	6.1	18.2	2.0	6.9	16.6	11.3	6.9
技	なし(N=313)	56	29	21	26	51	8	5	71	32	7
術	なし(N-313)	17.9	9.3	6.7	8.3	16.3	2.6	1.6	22.7	10.2	2.2

					今後3~5年	∓間に力を入∤	ていく取組			
		人材の採用	人材の育成	他社・大学等 との連携	生産効率の 向上	事業承継		経営体制の 強化	その他	無回答
全体	(N=560)	145	251	6	178	52	8	61	1	58
土 14	(N-300)	25.9	44.8	1.1	31.8	9.3	1.4	10.9	0.2	10.4
独	あり(N=247)	66	94	5	56	18	5	22	_	23
自	009 (N-247)	26.7	38.1	2.0	22.7	7.3	2.0	8.9	_	9.3
技	なし(N=313)	79	157	1	122	34	3	39	1	35
術 ぱし(N=313)		25.2	50.2	0.3	39.0	10.9	1.0	12.5	0.3	11.2

開発部署の有無別にみると、『あり』で「新製品の開発」が56件(33.7%)と『なし』より 26.3ポイント高くなっている。反面、『なし』で「生産効率の向上」が150件(36.0%)と『あり』 より17.9ポイント高くなっている。

【図表13-3 今後3~5年間に力を入れていく取組・開発部署の有無別(複数回答)】

					今後	3~5年間にカ	りを入れていく	取組			
		保有技術の 高度化	新技術の導 入		他分野での 新事業の開 拓	生産能力の 増強				国内の販路 開拓	海外の販路 開拓
全 休	(N=583)	143	77	87	41	99	14	23	117	61	25
_ PT	(11 000)	24.5	13.2	14.9	7.0	17.0	2.4	3.9	20.1	10.5	4.3
開	あり(N=166)	48	27	56	16	23	6	15	31	22	14
発	0)9 (N-100)	28.9	16.3	33.7	9.6	13.9	3.6	9.0	18.7	13.3	8.4
部		95	50	31	25	76	8	8	86	39	11
署	なし(N-417)	22.8	12.0	7.4	6.0	18.2	1.9	1.9	20.6	9.4	2.6

					今後3~5年	年間に力を入れ	いていく取組			
		人材の採用	人材の育成	他社・大学等 との連携	生産効率の 向上		知的財産戦 略の強化	経営体制の 強化	その他	無回答
수 / 	(N=583)	154	260	7	180	53	10	63	3	62
土中	(N-303)	26.4	44.6	1.2	30.9	9.1	1.7	10.8	0.5	10.6
開	あり(N=166)	41	64	4	30	13	2	16	1	16
発	009 (N-100)	24.7	38.6	2.4	18.1	7.8	1.2	9.6	0.6	9.6
部	なし(N=417)	113	196	3	150	40	8	47	2	46
署	はし(N-417)	27.1	47.0	0.7	36.0	9.6	1.9	11.3	0.5	11.0

14. 今後10~15年間の事業の見通し

今後10~15年間の事業の見通しについて、「現在の事業規模を維持」が287件(49.1%)と最も高く、次いで「事業規模を拡大」が212件(36.2%)、「新規事業への転換」が106件(18.1%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「事業規模の拡大」が50件(44.2%)と全体より8.0 ポイント高くなっている。

【図表14-1 今後10~15年間の事業の見通し・従業員規模別(複数回答)】

					今後10~	15年間の事業	の見通し			
		事業規模の 拡大	現在の事業 規模を維持	事業規模の 縮小	新規事業へ の転換	分社化	第二創業	事業の譲渡	休業または 廃業	無回答
全 体	(N=585)	212	287	74	106	18	22	30	11	20
_ rr		36.2	49.1	12.6	18.1	3.1	3.8	5.1	1.9	3.4
	4 人以下(N=37)	11	13	5	6	-	-	6	4	5
	4 人以下(N=37)	29.7	35.1	13.5	16.2	-	_	16.2	10.8	13.5
	5 ~9 人(N=32)	8	13	8	5	-	-	1	2	2
従	3 1-9 X(IN-32)	25.0	40.6	25.0	15.6	_	_	3.1	6.3	6.3
業員	10~29人(N=205)	71	108	24	37	8	7	14	4	4
規	10~29X (N-200)	34.6	52.7	11.7	18.0	3.9	3.4	6.8	2.0	2.0
模	30~99人(N=198)	72	97	28	40	6	10	8	-	5
^	3033V (N-130)	36.4	49.0	14.1	20.2	3.0	5.1	4.0	_	2.5
	100 人以上(N=113)	50	56	9	18	4	5	1	1	4
	100 人以工(N-113)	44.2	49.6	8.0	15.9	3.5	4.4	0.9	0.9	3.5

独自技術の有無別にみると、『あり』で「事業規模の拡大」が119件(48.2%)と『なし』より 21.4ポイント高くなっている。

【図表14-2 今後10~15年間の事業の見通し・独自技術の有無別(複数回答)】

	今後10~15年間の事業の見通し										
				事業規模の 縮小	新規事業へ の転換	分社化	第二創業	事業の譲渡	休業または 廃業	無回答	
全 体(N=560)		203	273	76	102	18	20	30	12	16	
土件	(11-300)	36.3	48.8	13.6	18.2	3.2	3.6	5.4	2.1	2.9	
自技	あり(N=247)	119	108	25	46	11	12	11	3	4	
	0)9 (N-247)	48.2	43.7	10.1	18.6	4.5	4.9	4.5	1.2	1.6	
	なし(N=313)	84	165	51	56	7	8	19	9	12	
		26.8	52.7	16.3	17.9	2.2	2.6	6.1	2.9	3.8	

開発部署の有無別にみると、『あり』で「事業規模の拡大」が88件(53.0%)と『なし』より 23.3ポイント高くなっている。

【図表14-3 今後10~15年間の事業の見通し・開発部署の有無別(複数回答)】

		今後10~15年間の事業の見通し										
					新規事業へ の転換	分社化	第二創業	事業の譲渡	休業または 廃業	無回答		
全 体(N=583)		212	285	76	105	18	21	30	12	18		
		36.4	48.9	13.0	18.0	3.1	3.6	5.1	2.1	3.1		
発部	あり(N=166)	88	72	14	32	10	7	7	1	2		
	859 (14-100)	53.0	43.4	8.4	19.3	6.0	4.2	4.2	0.6	1.2		
	なし(N=417)	124	213	62	73	8	14	23	11	16		
		29.7	51.1	14.9	17.5	1.9	3.4	5.5	2.6	3.8		

15. 現在取り組んでいる新規事業

現在取り組んでいる新規事業について、「保有技術の高度化」が203件(34.7%)と最も高く、次いで「既存分野での新製品の開発・提案」が156件(26.7%)、「既存製品の販路拡大」が151件(25.8%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「既存分野での新製品の開発・提案」が50件(44.2%)と全体より17.5ポイント高くなっている。

【図表15-1 現在取り組んでいる新規事業・従業員規模別(複数回答)】

		現在取り組んでいる新規事業								
		保有技術の 高度化	新技術の導 入	既存分野で の新製品の 開発・提案	既存製品の	新分野での 事業開発・展 開	必要性は感 じるが取り組 んでいない	無回答		
全 体	(N=585)	203	118	156	151	105	139	42		
PT	(11 000)	34.7	20.2	26.7	25.8	17.9	23.8	7.2		
	4 人以下(N=37)	7	6	4	1	5	16	7		
		18.9	16.2	10.8	2.7	13.5	43.2	18.9		
414	5 ~9 人(N=32)	6	4	5	5	3	11	6		
従業		18.8	12.5	15.6	15.6	9.4	34.4	18.8		
業員	10~29人(N=205)	70	40	49	55	39	55	11		
規	10.529X(N=203)	34.1	19.5	23.9	26.8	19.0	26.8	5.4		
模	30~99人(N=198)	75	34	48	56	33	45	9		
		37.9	17.2	24.2	28.3	16.7	22.7	4.5		
	100	45	34	50	34	25	12	9		
	100 人以上(N=113)	39.8	30.1	44.2	30.1	22.1	10.6	8.0		

独自技術の有無別にみると、『あり』で「保有技術の高度化」や「既存分野での新製品の開発・ 提案」が『なし』より20ポイント以上高くなっている。

【図表15-2 現在取り組んでいる新規事業・独自技術の有無別(複数回答)】

		現在取り組んでいる新規事業								
		保有技術の 高度化	新技術の導 入		既存製品の 販路拡大	新分野での 事業開発・展 開	必要性は感 じるが取り組 んでいない	無回答		
全 体(N=560)		192	114	151	145	102	136	38		
土件	(11-500)	34.3	20.4	27.0	25.9	18.2	24.3	6.8		
独自技術	あり(N=247)	115	71	107	85	60	24	7		
	0)9 (N-247)	46.6	28.7	43.3	34.4	24.3	9.7	2.8		
	なし(N=313)	77	43	44	60	42	112	31		
		24.6	13.7	14.1	19.2	13.4	35.8	9.9		

開発部署の有無別にみると、『あり』で「新技術の導入」や「既存分野での新製品の開発・提案」が『なし』より20ポイント前後高くなっている。

【図表15-3 現在取り組んでいる新規事業・開発部署の有無別(複数回答)】

		現在取り組んでいる新規事業								
		保有技術の 高度化	新技術の導 入	既存分野で の新製品の 開発・提案		新分野での 事業開発・展 開	必要性は感 じるが取り組 んでいない	無回答		
全 体(N=583)		202	118	157	152	107	139		40	
		34.6	20.2	26.9	26.1	18.4	23.8		6.9	
開発部署	あり(N=166)	75	58	87	59	44	9		5	
	(N-100)	45.2	34.9	52.4	35.5 26.5	5.4		3.0		
	なし(N=417)	127	60	70	93	63	130		35	
		30.5	14.4	16.8	22.3	15.1	31.2		8.4	

16. 取組を行う理由

現在新規事業として「既存分野での新製品の開発・提案」と「新分野での事業開発・展開」に取り組んでいる理由について、「新しい柱の創出」が108件(49.3%)と最も高く、次いで「既存技術が転用・応用できた」が76件(34.7%)、「市場ニーズの把握」が75件(34.2%)と続いた。従業員規模別にみると、『100人以上』で「市場ニーズの把握」、「既存市場の縮小、消滅」、「他社との競争激化」が全体より10ポイント以上高くなっており、市場環境の変化への意識の高さがうかがえる。

【図表16-1 取組を行う理由・従業員規模別(複数回答)】

]	取組を行う理由	3		
		既存技術が 転用・応用で きた	取引先から の要求	市場ニーズの把握		既存市場の 縮小、消滅	他社との競 争激化	無回答
全 体	(N=219)	76	64	75	108	62	52	13
	(14 210)	34.7	29.2	34.2	49.3	28.3	23.7	5.9
	 4 人以下(N=7)	3	1	1	1	-	-	3
	人以下(N=7)	42.9	14.3	14.3	14.3	_	_	42.9
	5~9人(N=8)	3	2	1	1	3	3	1
従業	3 - 9 X(N=0)	37.5	25.0	12.5	12.5	37.5	37.5	12.5
業員	10~29人(N=73)	27	21	24	37	17	12	3
規	10.929X(N=73)	37.0	28.8	32.9	50.7	23.3	16.4	4.1
模	30~99人(N=72)	20	24	22	38	17	16	6
	30 - 33 X (N-72)	27.8	33.3	30.6	52.8	23.6	22.2	8.3
	100 人以上(N=59)	23	16	27	31	25	21	_
	100 人放工(N=39)	39.0	27.1	45.8	52.5	42.4	35.6	_

独自技術の有無別にみると、『あり』で「市場ニーズの把握」が55件(40.4%)と『なし』より15.1ポイント高くなっている。

【図表16-2 取組を行う理由・独自技術の有無別(複数回答)】

		取組を行う理由										
		既存技術が 転用・応用で きた	取引先からの要求	市場ニーズの把握		既存市場の 縮小、消滅	他社との競 争激化	無回答				
全 体	(N=211)	74	61	74	105	60	49		13			
土作	(N-ZII)	35.1	28.9	35.1	49.8	28.4	23.2		6.2			
独	あり(N=136)	52	43	55	63	35	35		7			
自	(N-130)	38.2	31.6	40.4	46.3	25.7	25.7		5.1			
技	なし(N=75)	22	18	19	42	25	14		6			
術	なし(N-70)	29.3	24.0	25.3	56.0	33.3	18.7		8.0			

開発部署の有無別にみると、『あり』で「市場ニーズの把握」が48件(45.3%)と『なし』より21.6ポイント高くなっている。

【図表16-3 取組を行う理由・開発部署の有無別(複数回答)】

		取組を行う理由									
		既存技術が 転用・応用で きた	取引先から の要求	市場ニーズの把握		既存市場の 縮小、消滅	他社との競 争激化	無回答			
全体	(N=220)	77	64	75	109	63	52	1			
土体	(N-220)	35.0	29.1	34.1	49.5	28.6	23.6	5.			
開	あり(N=106)	43	28	48	48	37	24				
発	(N-100)	40.6	26.4	45.3	45.3	34.9	22.6	5.			
部	+> (N=114)	34	36	27	61	26	28				
署	なし(N=114)	29.8	31.6	23.7	53.5	22.8	24.6	6.			

17. 取組を行っていない理由

新規事業の必要性を感じているが取組を行っていない理由について、「開発できる人材がいない」が74件(53.2%)と最も高く、次いで「開発する資金がない」が58件(41.7%)、「取り組むテーマが分からない」が57件(41.0%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』で「取り組むテーマが分からない」、「開発できる人材がいない」、「開発する資金がない」など複数項目で全体と比較して高くなっている。

【図表17-1 取組を行っていない理由・従業員規模別(複数回答)】

				取組	を行っていない	理由		
		取り組むテー マが分から ない	開発できる 人材がいな い	開発する時間がない		開発の進め 方が分から ない	その他	無回答
全 体	(N=139)	57	74	30			7	3
		41.0	53.2	21.6	41.7	30.9	5.0	2.2
	 4 人以下(N=16)	8	10	3	8	6	2	-
	4 人以下(N=16)	50.0	62.5	18.8	50.0	37.5	12.5	_
174	5~9人(N=11)	6	5	1	2	3	_	_
従	3 - 3 X(N=11)	54.5	45.5	9.1	18.2	27.3	_	_
業員	10~29人(N=55)	21	30	13	25	20	4	1
規	10.929X(N=33)	38.2	54.5	23.6	45.5	36.4	7.3	1.8
模	30~99人(N=45)	18	23	9	18	11	_	1
	30 - 99 X (N=43)	40.0	51.1	20.0	40.0	24.4	_	2.2
	100 人以上(N=12)	4	6	4	5	3	1	1
	TOO 八以工(N-12)	33.3	50.0	33.3	41.7	25.0	8.3	8.3

独自技術の有無別にみると、『あり』で「開発できる人材がいない」が16件(66.7%)と『なし』より16.7ポイント高くなっている。反面、『なし』で「開発の進め方が分からない」が36件(32.1%)と『あり』より11.3ポイント高くなっている。

【図表17-2 取組を行っていない理由・独自技術の有無別(複数回答)】

		取組を行っていない理由											
		取り組むテー マが分から ない	開発できる 人材がいな い	開発する時間がない		開発の進め 方が分から ない	その他	無回答					
全体	(N=136)	56	72	29	56	41	5	3					
土件	(14-130)	41.2	52.9	21.3	41.2	30.1	3.7	2.2					
独	あり(N=24)	11	16	6	9	5	_	_					
自	059 (N-24)	45.8	66.7	25.0	37.5	20.8	_	_					
技	なし(N=112)	45	56	23	47	36	5	3					
術	/なし(N-112)	40.2	50.0	20.5	42.0	32.1	4.5	2.7					

開発部署の有無別については、サンプル数が少ないため集計表のみの記載とする。

【図表17-3 取組を行っていない理由・開発部署の有無別(複数回答)】

			取組を行っていない理由										
		取り組むテー マが分から ない	開発できる 人材がいな い	開発する時間がない	用発する質 全がたい	開発の進め 方が分から ない	その他	無回答					
全 体	(N=139)	57	75	30	58	43	6	3					
T	(14-155)	41.0	54.0	21.6	41.7	30.9	4.3	2.2					
開	あり(N=9)	4	3	_	5	2	1	-					
発	000 (N=3)	44.4	33.3	_	55.6	22.2	11.1	_					
部	なし(N=130)	53	72	30	53	41	5	3					
署	130)	40.8	55.4	23.1	40.8	31.5	3.8	2.3					

18. 販路開拓

100 人以上(N=113)

43.4

14.2

48.7

販路開拓について、「新規顧客を開拓している」が227件(38.8%)と最も高く、次いで「HPで情報発信している」が169件(28.9%)、「展示会に出展している」が133件(22.7%)と続いた。

従業員規模別にみると、「新規顧客を開拓している」は従業員規模が大きくなるにつれて、高くなっている。

販路開拓 販路開拓す 販路開拓す 販路開拓の 展示会に出 マッチングイ 新規顧客を HPで情報発 販路開拓の る時間がな その他 無回答 方法が分か る人材が不 ベントに参加 開拓している 信している 展している 必要がない らない 112 227 69 133 169 54 27 118 45 13 全 体(N=585) 22.7 19.1 38.8 28.9 9.2 4.6 20.2 7.7 2.2 11.8 6 9 3 3 11 4 人以下(N=37) 13.5 16.2 21.6 24.3 8.1 8.1 21.6 16.2 29.7 5 2 2 8 5~9人(N=32) 従 25.0 28.1 15.6 3.1 25.0 6.3 6.3 94 15.6 業 33 42 26 76 65 39 19 22 員 10~29人(N=205) 20.5 37.1 161 317 12.7 44 190 10.7 93 3 4 規 44 46 79 55 15 11 47 11 22 模 30~99人(N=198) 22.2 23.2 39.9 27.8 7.6 23.7 2.5 5.6 5.6 11.1 49 16 55 32 5 3 16 6 9

28.3

【図表18-1 販路開拓・従業員規模別(複数回答)】

独自技術の有無別にみると、『あり』で「展示会に出展している」が80件(32.4%)と『なし』 より15.8ポイント高くなっている。

14.2

8.0

			10-2	HX FD H1 17L	1、江口)	とかりりつつけ	サンツ (下女	双凹百/	1		
						販路	開拓				
		展示会に出展している		新規顧客を 開拓している		販路開拓の		販路開拓す る人材が不 足	販路開拓す る時間がな い	その他	無回答
4	(N=560)	132	109	216	168	53	26	113	43	11	63
土冲	(11-300)	23.6	19.5	38.6	30.0	9.5	4.6	20.2	7.7	2.0	11.3
独	あり(N=247)	80	52	110	84	15	8	49	19	6	24
自	0)9 (N-247)	32.4	21.1	44.5	34.0	6.1	3.2	19.8	7.7	2.4	9.7
技	なし(N=313)	52	57	106	84	38	18	64	24	5	39
祈	14C(N-313)	16.6	100	220	26.0	121	5.0	20.4	77	16	125

【図表18-2 販路開拓・独自技術の有無別(複数回答)】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「展示会に出展している」が73件(44.0%)と『なし』より29.1ポイント高くなっている。

【図表18-3 販路開拓・開発部署の有無別(複数回答)】

						販路	開拓						
			マッチングイ ベントに参加	新規顧客を 開拓している	HPで情報発 信している			販路開拓す る人材が不 足	販路開拓す る時間がな い	その他	無回答		
수 성	x (N=583)	135	113	227	170	54	27	118	45	14	65		
포 14		23.2	19.4	38.9	29.2	9.3	4.6	20.2	7.7	2.4	11.1		
開	あり(N=166)	73	41	84	53	7	3	31	4	3	10		
発	(N-100)	44.0	24.7	50.6	31.9	4.2	1.8	18.7	2.4	1.8	6.0		
部	なし(N=417)	62	72	143	117	47	24	87	41	11	55		
署	12C(N-417)	14.9	17.3	34.3	28.1	11.3	5.8	20.9	9.8	2.6	13.2		

19. 中核人材の育成に関する取組

中核人材の育成に関する取組について、「実施している」が320件(54.7%)と最も高く、次い で「必要性は感じているが実施していない」が230件(39.3%)、「必要がない」が17件(2.9%) と続いた。

従業員規模別にみると、「実施している」は従業員規模が大きくなるにつれて、高くなっている。 『100人以上』では83件(73.5%)と全体より18.8ポイント高くなっているのに対して、『4人以 下』では5件(13.5%)と全体より41.2ポイント低くなっており、大きな乖離がみられる。

□必要性は感じているが実施していない ■必要がない ■実施している □無回答 10% 40% 50% 60% 100% 70% N= 54.7 39.3 2.9 3.1 全 体 585 16.2 13.5 56.8 13.5 4 人以下 37 28.1 0.0 6.3 5~9人 32 65.6 53.2 3.4 1.5 10~29人 205 ·V/A 30~99人 198 57.6 38.4 73.5 230 100 人以上 113 0.0 3.5 中核人材の育成に関する取組 必要性は感

【図表19-1 中核人材の育成に関する取組・従業員規模別】

		実施している	じているが実	必要がない	無回答
			施していない		
全体	(N=585)	320	230	17	18
土体	(11-303)	54.7	39.3	2.9	3.1
	4 人以下(N=37)	5	21	6	5
	イ	13.5	56.8	16.2	13.5
434	5 ~9 人(N=32)	9	21	_	2
従	3 1 9 X (N=32)	28.1	65.6	_	6.3
業 員 規	10~29人(N=205)	109	86	7	3
月相	10~29X(N-200)	53.2	42.0	3.4	1.5
模	30~99人(N=198)	114	76	4	4
	2088X(IN-180)	57.6	38.4	2.0	2.0
	100 人以上(N=113)	83	26	_	4
	N-113)	73.5	23.0	_	3.5

独自技術の有無別にみると、『あり』で「実施している」が151件(61.1%)と『なし』より 10.0ポイント高くなっている。

■実施している □必要性は感じているが実施していない ■必要がない □無回答 10% 20% 60% 100% 0% 70% 80% N= 55.5 38.9 3.4 2.1 全 体 560 2.0 1.6 61.1 35.2 あり 247 4.5 2.6 51.1 なし 313 中核人材の育成に関する取組 必要性は感 実施しているじているが実必要がない 無回答 施していない 12 311 218 19 全 体(N=560) 3.4 55.5 38.9 2.1 151 87 5 4 独 あり(N=247) 1.6 自 61.1 35.2 2.0 技 160 131 14 8 なし(N=313) 術 51.1 41.9 4.5 2.6

【図表19-2 中核人材の育成に関する取組・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「実施している」が112件(67.5%)と『なし』より17.6ポイント高くなっている。

ロ必要性は感じているが実施していない ■実施している ■必要がない □無回答 10% 100% 20% 30% 40% 50% 60% 80% N= 54.9 39.5 3.3 2.4 全 体 583 67.5 30.1 2.4 0.0 あり 166 49.9 43.2 3.6 3.4 なし 417 中核人材の育成に関する取組 必要性は感 実施しているじているが実し必要がない 無回答 施していない 320 230 19 14 全 体(N=583) 54.9 39.5 3.3 2.4 4 112 50 開 あり(N=166) 発 67.5 30.1 2.4 部 14 208 180 15 なし(N=417) 署 49.9 43.2 3.6 3.4

【図表19-3 中核人材の育成に関する取組・開発部署の有無別】

20. 中核を担う人材を育成する取組

中核を担う人材を育成する取組について、「社外研修、セミナーへの参加」が309件(52.8%)と最も高く、次いで「OJT」が263件(45.0%)、「社内研修」が223件(38.1%)と続いた。 従業員規模別にみると、ほとんどの取組において従業員規模に比例しており、『100人以上』と『4人以下』では取組状況に大きな乖離がみられる。

【図表20-1 中核を担う人材を育成する取組・従業員規模別(複数回答)】

					4	中核を担う人材	を育成する取締	狙			
		社内研修	セミナーへの	技能検定等 の受験料補 助	OJT	指導人材の 派遣	QCサーク ル、改善提 案の募集	Off-JT	社内表彰制 度の設置	その他	無回答
全 体	(N=585)	223	309	177	263	26	143	51	88	10	92
	(555)	38.1	52.8	30.3	45.0	4.4	24.4	8.7	15.0	1.7	15.7
	 4 人以下(N=37)	6	6	1	8	-	1	1	-	1	19
	4 人以下(N-37)	16.2	16.2	2.7	21.6	_	2.7	2.7	_	2.7	51.4
474	5~9 人(N=32)	7	5	5	11	-	2	1	1	1	10
従	0 0 X(N-02)	21.9	15.6	15.6	34.4	_	6.3	3.1	3.1	3.1	31.3
業員	10~29人(N=205)	68	85	52	74	9	37	11	23	3	33
規	10 2000	33.2	41.5	25.4	36.1	4.4	18.0	5.4	11.2	1.5	16.1
模	30~00 k (N-108)	73	125	67	102	13	49	21	25	3	25
佚	80~99人(N=198)	36.9	63.1	33.8	51.5	6.6	24.7	10.6	12.6	1.5	12.6
	100 人以上(N=113)	69	88	52	68	4	54	17	39	2	5
	100 XXX (N-110)	61.1	77.9	46.0	60.2	3.5	47.8	15.0	34.5	1.8	4.4

独自技術の有無別にみると、『あり』で「社外研修、セミナーへの参加」や「OJT」が『なし』 より10ポイント以上高くなっている。

【図表20-2 中核を担う人材を育成する取組・独自技術の有無別(複数回答)】

					4	□核を担う人材	を育成する取締	A			
		社内研修	セミナーへの	技能検定等 の受験料補 助	OJT	指導人材の 派遣	QCサーク ル、改善提 案の募集	Off-JT	社内表彰制 度の設置	その他	無回答
仝 休	(N=560)	218	302	171	256	23	138	47	83	10	85
- m	(11-000)	38.9	53.9	30.5	45.7	4.1	24.6	8.4	14.8	1.8	15.2
独	あり(N=247)	106	152	83	135	16	70	33	47	5	25
自	0)9 (N-247)	42.9	61.5	33.6	54.7	6.5	28.3	13.4	19.0	2.0	10.1
技	なし(N=313)	112	150	88	121	7	68	14	36	5	60
術	(N-313)	35.8	47.9	28.1	38.7	2.2	21.7	4.5	11.5	1.6	19.2

開発部署の有無別にみると、『あり』でほとんどの取組項目が『なし』と比較して高くなっている。

【図表20-3 中核を担う人材を育成する取組・開発部署の有無別(複数回答)】

					Ч	□核を担う人材	を育成する取ん	組			
		社内研修	セミナーへの	技能検定等 の受験料補 助		指導人材の 派遣	QCサーク ル、改善提 案の募集	Off-JT	社内表彰制 度の設置	その他	無回答
全 体	(N=583)	222	308	178	265	25	143	49	87	10	91
T	(11-303)	38.1	52.8	30.5	45.5	4.3	24.5	8.4	14.9	1.7	15.6
開	あり(N=166)	92	101	65	103	10	59	23	45	2	14
発	(N-100)	55.4	60.8	39.2	62.0	6.0	35.5	13.9	27.1	1.2	8.4
部	なし(N=417)	130	207	113	162	15	84	26	42	8	77
署	なし(IN-417)	31.2	49.6	27.1	38.8	3.6	20.1	6.2	10.1	1.9	18.5

21. 取組を行っていない理由

中核人材の育成に必要性は感じているが取組を行っていない理由について、「指導人材がいない」が125件(54.3%)と最も高く、次いで「時間の余裕がない」が118件(51.3%)、「予算がない」が37件(16.1%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』で「予算がない」が7件(33.3%)と全体より17.2ポイント高くなっている。

【図表21-1 取組を行っていない理由・従業員規模別(複数回答)】

			取組	を行っていない	理由							
		時間の余裕がない	研修の情報 がない	指導人材が いない	予算がない	無回答						
全 体	(N=230)	118	24	125	37	16						
rr	(II 200)	51.3	10.4	54.3	16.1	7.0						
	4 人以下(N=21)	10	3	9	7	1						
	- 7/2/ (N 21)	47.6	14.3	42.9	33.3	4.8						
724	5~9人(N=21)	8	_	12	4	3						
従	0 0 X (N=21)	38.1	_	57.1	19.0	14.3						
業員	10~29人(N=86)	44	5	44	15	7						
規	10 - 29X (N=00)	51.2	5.8	51.2	17.4	8.1						
模	30~99人(N=76)	43	15	44	8	2						
	337(N-70)	56.6	19.7	57.9	10.5	2.6						
	100 人以上(N=26)	13	1	16	3	3						
	100 XXX (N-20)	50.0	3.8	61.5	11.5	11.5						

独自技術の有無別にみると、『なし』で「指導人材がいない」が77件(58.8%)と『あり』より12.8ポイント高くなっている。

【図表21-2 取組を行っていない理由・独自技術の有無別(複数回答)】

		取組を行っていない理由									
		時間の余裕がない	研修の情報がない	指導人材が いない	予算がない	無回答					
全体	(N=218)	114	24	117	35	14					
土件	(N-210)	52.3	11.0	53.7	16.1	6.4					
独	あり(N=87)	48	14	40	16	7					
自	0)9 (N=07)	55.2	16.1	46.0	18.4	8.0					
技	なし(N=131)	66	10	77	19	7					
術	/4U(N-131)	50.4	7.6	58.8	14.5	5.3					

開発部署の有無別にみると、『なし』で「指導人材がいない」が102件(56.7%)と『あり』より10.7ポイント高くなっている。

【図表21-3 取組を行っていない理由・開発部署の有無別(複数回答)】

			取組	を行っていない	理由	
		時間の余裕がない	研修の情報 がない	指導人材が いない	予算がない	無回答
全体	(N=230)	118	24	125	37	16
土体	(N-230)	51.3	10.4	54.3	16.1	7.0
開	あり(N=50)	26	7	23	7	4
発	0)9 (N=30)	52.0	14.0	46.0	14.0	8.0
部	なし(N=180)	92	17	102	30	12
署	ない(N-100)	51.1	9.4	56.7	16.7	6.7

22. 人材不足に対応する自社の取組

人材不足に対応する自社の取組について、「従業員の多能工化」が380件(65.0%)と最も高く、次いで「協力会社へ外注」が224件(38.3%)、「人員の再配置」が216件(36.9%)と続いた。 従業員規模別にみると、多くの取組項目において従業員規模の大きい方が割合は高いが、「受注量の調整」については『4人以下』で10件(27.0%)と全体より13.2ポイント高くなっている。

【図表22-1 人材不足に対応する自社の取組・従業員規模別(複数回答)】

					人	材不足に対応	する自社の取	組			
		従業員の多 能工化	IoT の導入	人員の再配 置		協力会社へ 外注	標準マニュアルの作製	リードタイム の短縮	高機能な生 産設備の導 入	その他	無回答
全 体	(N=585)	380	88	216	81	224	121	96	172	20	28
		65.0	15.0	36.9	13.8	38.3	20.7	16.4	29.4	3.4	4.8
	4 人以下(N=37)	20	2	5	10	13	5	3	3	1	4
	4 人以下(N-37)	54.1	5.4	13.5	27.0	35.1	13.5	8.1	8.1	2.7	10.8
	5 ~9 人(N=32)	15	1	10	5	10	5	1	4	1	4
従	J 19 X (N=32)	46.9	3.1	31.3	15.6	31.3	15.6	3.1	12.5	3.1	12.5
業員	10~29人(N=205)	126	22	61	41	89	32	28	60	10	11
規	10 - 20 / (14 - 200)	61.5	10.7	29.8	20.0	43.4	15.6	13.7	29.3	4.9	5.4
模	20~00 L (N-100)	139	37	82	18	69	44	32	67	7	6
1天	30~99人(N=198)	70.2	18.7	41.4	9.1	34.8	22.2	16.2	33.8	3.5	3.0
	100	80	26	58	7	43	35	32	38	1	3
	100 人以上(N=113)	70.8	23.0	51.3	6.2	38.1	31.0	28.3	33.6	0.9	2.7

独自技術の有無別にみると、『あり』で「IoTの導入」や「人員の再配置」、「高機能な生産設備の導入」が『なし』より10ポイント弱高くなっている。

【図表22-2 人材不足に対応する自社の取組・独自技術の有無別(複数回答)】

					人	材不足に対応	する自社の取	組			
		従業員の多 能工化	IoT の導入	人員の再配 置			標準マニュア ルの作製		高機能な生 産設備の導 入	その他	無回答
仝 休	(N=560)	366	85	207	75	215	116	92	165	19	25
포 [#	(11-300)	65.4	15.2	37.0	13.4	38.4	20.7	16.4	29.5	3.4	4.5
独	あり(N=247)	164	51	104	25	87	50	51	86	9	12
自	0)9 (N-247)	66.4	20.6	42.1	10.1	35.2	20.2	20.6	34.8	3.6	4.9
技	なし(N=313)	202	34	103	50	128	66	41	79	10	13
術	(N-313)	64.5	10.9	32.9	16.0	40.9	21.1	13.1	25.2	3.2	4.2

開発部署の有無別にみると、『あり』で「人員の再配置」が78件(47.0%)と『なし』より14.6ポイント高くなっている。

【図表22-3 人材不足に対応する自社の取組・開発部署の有無別(複数回答)】

					人	材不足に対応	する自社の取	組			
		従業員の多 能工化	IoT の導入				標準マニュア ルの作製	リードタイム の短縮	高機能な生 産設備の導 入	その他	無回答
仝 休	(N=583)	379	88	213	82	224	119	93	169	20	28
T	(11-300)	65.0	15.1	36.5	14.1	38.4	20.4	16.0	29.0	3.4	4.8
開	あり(N=166)	113	38	78	16	61	45	36	61	5	4
発	(N-100)	68.1	22.9	47.0	9.6	36.7	27.1	21.7	36.7	3.0	2.4
部	なし(N=417)	266	50	135	66	163	74	57	108	15	24
署	/aC(N-417)	63.8	12.0	32.4	15.8	39.1	17.7	13.7	25.9	3.6	5.8

23. IoT機器の使用目的

人材不足に対応して「IoTの導入」に取り組んでいる企業のIoT機器の使用目的ついて、「生産状況の進捗管理」が70件(79.5%)と最も高く、次いで「受発注の管理」が45件(51.1%)、「技術のデータベース化」が36件(40.9%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「工場内の物資輸送の効率化」が6件(23.1%)と全体より11.7ポイント高くなっている。

IoT 機器の使用目的 工場内の物 生産状況の 検査工程の 梱包・出荷工 技術のデー 受発注の管 設備保全 その他 無回答 資輸送の効 進捗管理 程の自動化 タベース化 自動化 理 率化 10 36 全 体(N=88) 79.5 33.0 11.4 11.4 40.9 51.1 17.0 4.5 4 人以下(N=2) 50.0 50.0 5~9人(N=1) 従 100.0 100.0 100.0 業 2 2 19 13 員 10~29人(N=22) 86.4 31.8 9.1 4.5 31.8 59.1 13.6 9.1 規 31 14 5 3 19 18 榵 30~99人(N=37) 83.8 37.8 13.5 48.6 21.6 8.1 51.4 2 19 6 12 100 人以上(N=26) 73.1 26.9 11.5 23.1 34.6 46.2 15.4 7.7

【図表23-1 IoT機器の使用目的・従業員規模別(複数回答)】

独自技術の有無別にみると、『あり』で「検査工程の自動化」が19件(37.3%)と『なし』より13.8ポイント高くなっている。

		【四秋23-2 101 城市以底市口的 拉口区间的日本的 (按数日日)											
						IoT	機器の使用目	的					
			生産状況の 進捗管理	検査工程の 梱包・出荷 自動化 程の自動化		工場内の物 資輸送の効 率化	技術のデー タベース化	受発注の管 理	設備保全	その他	無回答		
全 体	·(N-95)		68	27	8	10	37	43	15	4	-		
土中	全 体(N=85)		80.0	31.8	9.4	11.8	43.5	50.6	17.6	4.7	_		
独	あり(N=51)		42	19	4	5	23	24	9	3	-		
自	0)9 (N=31)		82.4	37.3	7.8	9.8	45.1	47.1	17.6	5.9	_		
技	なし(N=34)		26	8	4	5	14	19	6	1	_		
術	なし(N-34)	76.5	23.5	11.8	14.7	41.2	55.9	17.6	2.9	-			

【図表23-2 IoT機器の使用目的・独自技術の有無別(複数回答)】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「梱包・出荷工程の自動化」や「技術のデータベース化」が『なし』より10ポイント弱高くなっている。

【図表23-3 IoT機器の使用目的・開発部署の有無別(複数回答)】

					IoT	機器の使用目	的			
		生産状況の 進捗管理		梱包・出荷工 程の自動化	工場内の物 資輸送の効 率化	技術のデー タベース化	受発注の管 理	設備保全	その他	無回答
全 体	(N=88)	69	28	9	10	37	44	15	4	-
土 体	(11-00)	78.4	31.8	10.2	11.4	42.0	50.0	17.0	4.5	_
開	あり(N=38)	28	12	6	5	18	20	7	2	-
発	0)9 (N-30)	73.7	31.6	15.8	13.2	47.4	52.6	18.4	5.3	_
部	なし(N=50)	41	16	3	5	19	24	8	2	-
署	なし(N-30)	82.0	32.0	6.0	10.0	38.0	48.0	16.0	4.0	_

④ワークショップについて

24. 参加希望の有無

ワークショップ参加希望の有無について、「わからない」が229件(39.1%)と最も高く、次いで「参加したい意向はある(検討中)」が152件(26.0%)、「参加しない」が150件(25.6%)と続いた。

従業員規模別にみると、『4人以下』、『5~9人』で「積極的に参加する」との回答はなく、「参加しない」が全体と比較して高くなっている。

■積極的に参加する □参加したい意向はある(検討中) ■参加しない ロわからない ■無回答 10% 0% 20% 30% 40% 60% 70% 80% 90% 100% 6.8 25.6 585 26.0 39.1 2.4 全 体 37 0.0 21.6 459 29.7 2.7 4 人以下 6.3 32 0.0 9.4 37.5 46.9 5~9人 23.4 7.3 26.8 41.0 1.5 10~29人 205 8.1 25.8 28.8 34.8 30~99人 198 2.5 100 人以上 8.0 25.7 19.5 2.7 113

【図表24-1 参加希望の有無・従業員規模別】

			-	参加希望の有無	#	
		積極的に参加する	参加したい 意向はある (検討中)	参加しない	わからない	無回答
全 体(N=585)		40	152	150	229	14
エ か	(N-000)	6.8	26.0	25.6	39.1	2.4
	4 人以下(N=37)	_	8	17	11	1
	4 人以下(N-37)	_	21.6	45.9	29.7	2.7
414	5 ~9 人(N=32)	_	3	12	15	2
従業	3 19 X (N=32)	_	9.4	37.5	46.9	6.3
業 員	10~29人(N=205)	15	55	48	84	3
規規	10.429X(N-203)	7.3	26.8	23.4	41.0	1.5
模	30~99人(N=198)	16	57	51	69	5
(15年) (1	20 22 V (IN-120)	8.1	28.8	25.8	34.8	2.5
	100 人以上(N=113)	9	29	22	50	3
	100 人以工(N-113)	8.0	25.7	19.5	44.2	2.7

独自技術の有無別にみると、『あり』で「参加したい意向はある(検討中)」が79件(32.0%) と『なし』より10.9ポイント高くなっている。

■積極的に参加する □参加したい意向はある(検討中) ■参加しない ロわからない □無回答 10% 20% 30% 60% 70% 80% 90% 100% N= 6.6 25.9 25.7 39.5 2.3 全 体 560 9.3 32.0 19.0 36.8 あり 247 2.8 4.5 21.1 31.0 41.5 なし 1.9 313 参加希望の有無 参加したい 積極的に参 意向はある 参加しない 無回答 わからない 加する (検討中) 37 145 144 221 13 全 体(N=560) 25.7 6.6 25.9 39.5 2.3 23 79 47 91 7 独 あり(N=247) 自 9.3 32.0 19.0 36.8 2.8 技 14 66 97 130 6 なし(N=313) 術 4.5 21.1 31.0 41.5 1.9

【図表24-2 参加希望の有無・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「積極的に参加する」が22件(13.3%)と『なし』より9.2ポイント高くなっている。

【図表24-3 参加希望の有無・開発部署の有無別】 ■積極的に参加する □参加したい意向はある(検討中) ■参加しない ■無回答 ロわからない 10% 20% 30% 40% 50% 60% 90% 100% 70% 80% N= 6.7 25.9 25.7 39.5 2.2 583 全 体 13.3 28.3 35.5 1.8 あり 166 4.1 27.6 24.9 41.0 2.4 なし 417 参加希望の有無 参加したい 積極的に参 意向はある 参加しない わからない 無回答 加する (検討中) 39 151 150 230 13 全 体(N=583) 6.7 25.9 25.7 39.5 2.2 22 47 3 35 59 開 あり(N=166) 発 13.3 28.3 21.1 35.5 1.8 部 17 104 115 171 10 なし(N=417) 署 4.1 24.9 27.6 41.0 2.4

48

25. ワークショップで取り組みたい内容

ワークショップで取り組みたい内容について無回答を除くと、「販路開拓、新規顧客開拓の方法」が134件(22.9%)と最も高く、次いで「自社の強みの特定」が127件(21.7%)、「先進的な企業との情報交換」が101件(17.3%)と続いた。

従業員規模別にみると、『100人以上』で「先進的な企業との情報交換」が26件(23.0%)と全体より5.7ポイント高くなっている。

【図表25-1 ワークショップで取り組みたい内容・従業員規模別(複数回答)】

				ワ-	ークショップで耳	収り組みたい内	容		
		自社の強みの特定	情報発信力 の強化	販路開拓、 新規顧客開 拓の方法	先進的な企 業との情報 交換	IoT の活用 方法	多品種少量 生産のため のカイゼン、 TPS	その他	無回答
全 体	(N=585)	127	67	134	101	85	94	7	270
工件	(14-303)	21.7	11.5	22.9	17.3	14.5	16.1	1.2	46.2
	4 人以下(N=37)	7	_	5	3	2	3	1	22
	4 人以下(N-37)	18.9	_	13.5	8.1	5.4	8.1	2.7	59.5
	5~9人(N=32)	3	2	5	-	4	2	-	20
従業	5 * 5 X (N=32)	9.4	6.3	15.6	_	12.5	6.3	_	62.5
· 未	 10~29人(N=205)	47	29	54	34	19	36	1	93
規	10 29X (N-203)	22.9	14.1	26.3	16.6	9.3	17.6	0.5	45.4
模	30~99人(N=198)	45	22	41	38	39	33	2	87
	30 - 337((N-130)	22.7	11.1	20.7	19.2	19.7	16.7	1.0	43.9
	100 k lil F (N-113)	25	14	29	26	21	20	3	48
	100 人以上(N=113)	22.1	12.4	25.7	23.0	18.6	17.7	2.7	42.5

独自技術の有無別にみると、『あり』で「自社の強みの特定」や「先進的な企業との情報交換」 が『なし』より10ポイント以上高くなっている。

【図表25-2 ワークショップで取り組みたい内容・独自技術の有無別(複数回答)】

				ワ-	ークショップで耳	又り組みたい内]容		
					先進的な企 業との情報 交換	IoT の活用 方法	多品種少量 生産のため のカイゼン、 TPS	その他	無回答
全 体	(N=560)	122	59	126	98	83	89	6	259
土体	(N-300)	21.8	10.5	22.5	17.5	14.8	15.9	1.1	46.3
独	あり(N=247)	73	37	65	58	40	39	2	93
自	めり(N-247)	29.6	15.0	26.3	23.5	16.2	15.8	0.8	37.7
技	なし(N=313)	49	22	61	40	43	50	4	166
術	(AC(N-313)	15.7	7.0	19.5	12.8	13.7	16.0	1.3	53.0

開発部署の有無別にみると、『あり』で「情報発信力の強化」や「販路開拓、新規顧客開拓の方法」が『なし』より10ポイント以上高くなっている。

【図表25-3 ワークショップで取り組みたい内容・開発部署の有無別(複数回答)】

				ワ-	一クショップで耳	取り組みたい内	容		
		自社の強み の特定	情報発信力 の強化	販路開拓、 新規顧客開 拓の方法	先進的な企 業との情報 交換		多品種少量 生産のため のカイゼン、 TPS	その他	無回答
全 体	(N=583)	127	65	133	101	84	94	7	270
土体	(N-J03)	21.8	11.1	22.8	17.3	14.4	16.1	1.2	46.3
開	あり(N=166)	46	33	53	36	30	32	2	64
発	009 (N-100)	27.7	19.9	31.9	21.7	18.1	19.3	1.2	38.6
部	なし(N=417)	81	32	80	65	54	62	5	206
署	なし(N-41/)	19.4	7.7	19.2	15.6	12.9	14.9	1.2	49.4

26. 愛知県担当者の訪問可否

愛知県担当者の訪問可否について、「訪問可能」は145件(24.8%)であった。 従業員規模別にみると、従業員規模に大きな偏りなく訪問可能との回答が得られた。

■訪問可能 □訪問不可 ■無回答 10% 20% 50% 100% 5.3 24.8 699 全 体 585 18.9 78.4 2.7 4 人以下 37 6.3 15.6 78.1 5~9人 5.4 27.8 66.8 10~29人 205 6.6 28.3 30~99人 198 17.7 78.8 3.5 100 人以上 113

【図表26-1 愛知県担当者の訪問可否・従業員規模別】

		愛知児	見担当者の訪問	 -
		訪問可能	訪問不可	無回答
全 休	(N=585)	145	409	31
ᆂᄴ	(11-300)	24.8	69.9	5.3
	4 人以下(N=37)	7	29	1
	+ 人及 [* (N=37)	18.9	78.4	2.7
	5 ~9 人(N=32)	5	25	2
従業	5 × 5 X (N=52)	15.6	78.1	6.3
業 員	10~29人(N=205)	57	137	11
規	10.429X(N-200)	27.8	66.8	5.4
模	30~99人(N=198)	56	129	13
	20 33 V (IN-130)	28.3	65.2	6.6
	100 人以上(N=113)	20	89	4
	NAT (N-113)	17.7	78.8	3.5

独自技術の有無別にみると、『あり』で「訪問可能」が77件(31.2%)と『なし』より10.1ポイント高くなっている。

■訪問可能 □訪問不可 ■無回答 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 100% N= 4.3 25.5 70.2 全 体 560 3.6 31.2 65.2 あり 247 4.8 21.1 74.1 なし 313 愛知県担当者の訪問可否 訪問可能 訪問不可 無回答 143 393 24 全 体(N=560) 25.5 70.2 4.3 9 77 161 独 あり(N=247) 3.6 自 31.2 65.2 技 66 232 15 なし(N=313) 術 21.1 74.1 4.8

【図表26-2 愛知県担当者の訪問可否・独自技術の有無別】

開発部署の有無別にみると、『あり』で「訪問可能」が56件(33.7%)と『なし』より12.6ポイント高くなっている。

■訪問可能 □訪問不可 ■無回答 10% 20% 100% 30% 40% 50% 60% 70% 80% N= 5.0 24.7 70.3 583 全 体 5.4 33.7 60.8 あり 166 21.1 74.1 4.8 なし 417 愛知県担当者の訪問可否 訪問可能 訪問不可 無回答 144 410 29 全 体(N=583) 24.7 70.3 5.0 56 101 9 開 あり(N=166) 発 33.7 60.8 5.4 部 309 20 88 なし(N=417) 署 21.1 74.1 4.8

【図表26-3 愛知県担当者の訪問可否・開発部署の有無別】

⑤県に対する意見・要望事項について

27. 県に対する意見・要望事項

県に対する意見・要望事項について、「人材確保支援」が247件(42.2%)と最も高く、次いで「人材育成支援」が212件(36.2%)、「販路開拓支援」が144件(24.6%)と続いた。 従業員規模別で、目立った相関がみられる項目はないが、29人以下(『4人以下』、『5~9人』、『10~29人』)の企業で「金融支援」が全体と比較して高く、「人材育成支援」が全体と比較して低くなっている。

【図表27-1 県に対する意見・要望事項・従業員規模別(複数回答)】

				県に対	する意見・要望	望事項		
		販路開拓支 援	金融支援	新分野進出 支援	新商品開発 支援	経営指導·相 談	技術指導•支援	人材確保支援
全 体	(N=585)	144	137	98	71	55	67	247
<u> </u>	(11-300)	24.6	23.4	16.8	12.1	9.4	11.5	42.2
	4 人以下(N=37)	11	10	6	4	3	3	10
	7 7/2/ (N=07)	29.7	27.0	16.2	10.8	8.1	8.1	27.0
	5 ~9 人(N=32)	5	10	4	1	4	1	14
従業	5 * 9 X(N=32)	15.6	31.3	12.5	3.1	12.5	3.1	43.8
手 員	10~29人(N=205)	48	54	36	28	26	27	87
規	10 · 207((N=200)	23.4	26.3	17.6	13.7	12.7	13.2	42.4
	模 30~99人(N=198)	52	43	33	23	19	26	91
		26.3	21.7	16.7	11.6	9.6	13.1	46.0
	100 人以上(N=113)	28	20	19	15	3	10	45
100 人以上(N=113)	24.8	17.7	16.8	13.3	2.7	8.8	39.8	

				県に対する意	見・要望事項		
			産学行政連 携支援	海外展開支 援	企業•創業支援	その他	無回答
全体	(N=585)	212	62	34	10	18	123
	(14 000)	36.2	10.6	5.8	1.7	3.1	21.0
	 4 人以下(N=37)	7	5	-	1	2	12
	4 人以下(N=3/)	18.9	13.5	_	2.7	5.4	32.4
.,,	5~9 人(N=32)	5	_	1	1	2	9
従	J - 9 X (N-32)	15.6	_	3.1	3.1	6.3	28.1
業員	10~29人(N=205)	70	16	15	1	8	37
規	10° 23 X (N=200)	34.1	7.8	7.3	0.5	3.9	18.0
模	30~99人(N=198)	86	25	12	6	5	37
	30~88√(N-188)	43.4	12.6	6.1	3.0	2.5	18.7
	100 人以上(N=113)	44	16	6	1	1	28
	100 人以工(N-113)	38.9	14.2	5.3	0.9	0.9	24.8

独自技術の有無別にみると、『あり』で「新分野進出支援」や「新商品開発支援」、「産学行政 連携支援」、「海外展開支援」が『なし』より5ポイント以上高くなっている。

【図表27-2 県に対する意見・要望事項・独自技術の有無別(複数回答)】

				県に対	する意見・要望	望事項		
		販路開拓支 援	金融支援	新分野進出 支援		経営指導·相 談	技術指導·支援	人材確保支援
全体	(N=560)	137	133	92	67	54	65	236
土体	(N-300)	24.5	23.8	16.4	12.0	9.6	11.6	42.1
独	あり(N=247)	63	51	50	42	23	31	103
自	自 M = 247)	25.5	20.6	20.2	17.0	9.3	12.6	41.7
技	tol (N=212)	74	82	42	25	31	34	133
術	なし(N=313)	23.6	26.2	13.4	8.0	9.9	10.9	42.5

				県に対する意	見•要望事項		
			産学行政連 携支援	海外展開支援	企業·創業支援	その他	無回答
全 体	(N=560)	199	61	31	10	17	120
土冲	(11-300)	35.5	10.9	5.5	1.8	3.0	21.4
独	あり(N=247)	88	37	22	5	6	52
自	039 (N-241)	35.6	15.0	8.9	2.0	2.4	21.1
技	なし(N=313)	111	24	9	5	11	68
術	なし(N-313)	35.5	7.7	2.9	1.6	3.5	21.7

開発部署の有無別にみると、『あり』で「新商品開発支援」や「産学行政連携支援」が『なし』より10ポイント以上高くなっている。

【図表27-3 県に対する意見・要望事項・開発部署の有無別(複数回答)】

			県に対する意見・要望事項							
		販路開拓支 援	金融支援	新分野進出 支援		経営指導·相 談	技術指導·支援	人材確保支 援		
全体	(N=583)	143	138	97	68	55	67	246		
土体	(N-J03)	24.5	23.7	16.6	11.7	9.4	11.5	42.2		
開	あり(N=166)	45	32	34	32	10	19	71		
発	(N-100)	27.1	19.3	20.5	19.3	6.0	11.4	42.8		
部	なし(N=417)	98	106	63	36	45	48	175		
署	なし(N=417) 	23.5	25.4	15.1	8.6	10.8	11.5	42.0		

				県に対する意	見•要望事項		
		人材育成支 援	産学行政連 携支援	海外展開支援	企業・創業支援	その他	無回答
全 体((N=583)	209	62	34	10	18	124
土体、	(N-303)	35.8	10.6	5.8	1.7	3.1	21.3
開	あり(N=166)	60	31	16	2	2	35
発	(N=100)	36.1	18.7	9.6	1.2	1.2	21.1
部	なし(N=417)	149	31	18	8	16	89
署	/aU(N-417)	35.7	7.4	4.3	1.9	3.8	21.3

自動車業界の変化の影響等に関する動向調査

企業(事業所)名	電話	
所属·役職	FAX	
氏名	メールアドレス	

①御社	の概	況について						
	V 100	7,610 00 0	役員				人	
問 1	() 従業者数		正社員	W-1-7		<u> </u>		
1110	INC 5	X 1 XX	その他					_
	業		今期		-	→ #□ ↔ / =	E 2000W	_
	績	売上高	予想		万円	前期実績	万円	j
問2	の +#	「 ケ ★ L の 以 ##		売上高		営業利益	従業者数	
	推移	5年前と の比較	□増加	□横ばい □減少	Ē	増加 口横ばい 口減少	□増加 □横ばい □減少	1
	御礼	吐が保有してい	る主な	支術をお答えくだ	さい。	(最大3つまで)	7	
問3		⑥樹脂・ゴム成	形 ⑦		メッキ) ④プレス加工 ⑤溶 ⑧熱処理 ⑨配線 その他()	・組立	
	御礼	性の強みをお答	答えくださ	い。(最大3つま	で)			
問4	(6製品力 ⑦b	ごジネスヨ	製造技術力 ③	ティング) 明 ④生産効率 (5) ブカ ⑨営業力 (⑩4)		
問5	主/	とる製品・商品						
			白耐	車関連	部品	***	%	
問6	売	上割合) 日 <i>到</i>	1年 因 圧	部品」	以外 (設備関連等)	%	
			自動	自動車関連以外			%	
	御礼	土の生産形態	こついて	、該当する項目会	全てに	チェックしてください。		
問7	□自社の仕様で加工·生産 □発注者の仕様に基づき、自社で設計、図面等を作成して加工·生産 □発注者の図面に基づき加工·生産 □発注者より材料、金型を支給されて生産					産		
問8	白妇	独自技術の有無	□あり			,	□なし	7
[B] O	HI	·独日1X1机07月来				e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		
問9	試作無	F品受注の有	□あり	口ない	が受え	主可能 □	なし	- 1
問10		兄開発のため 3署の有無	□あり(名)		口なし		

2)CAS	E 及び MaaS の影響に	ついて						
		て、2025 年時点についてどれく	たい准 屈 オスレゼ 老 えですか					
			E(電動化)、MaaS(ゼリティアズ・ア・サービス)					
	The state of the s	にない、 いては、依頼文の裏面をご参照						
		する 口多少進展する 口あまり						
問11	3	する □多少進展する □あまり	ACTION AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN					
		する 口多少進展する 口あまり						
	100 TO THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T	する □多少進展する □あまり						
		する 口多少進展する 口あまり						
			響について、該当する項目にチェック					
	をしてください。	10000000000000000000000000000000000000						
	NAME OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF T	受ける □悪影響を受ける □影	「纓を受けない」□わからない					
問12		でける □悪影響を受ける □影 □ で □ で □ で □ で □ で □ で □ で □ で □ で	MANUFACTOR STATE AND THE THE STATE OF THE ST					
[H] 1 Z		でける □悪影響を受ける □影						
		でける □悪影響を受ける □影						
		でける □悪影響を受ける □影 □ できます □ できまる □ できまる □ できまる □ できまる □ になる						
			具体的な御社への影響について記					
	載してください。	「も」との日元したりに同いよう。	兴州的农园在 (0)的 量 IC 20. CE					
問13	0	A						
Inj 1 O	S	É						
	MaaS							
	12/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/05/	ける」とお答えした方に伺います。	具体的な御社への影響について記					
	載してください。	, 01200 [, 10 , 10 , 10 , 10 , 10 , 10 , 10	7. H 13 0 Pr II 1 II					
問14	C	l A						
188 0 88	S	E						
	MaaS	100000						
	CASE や MaaS の進月	展に対応して実施している取組1	こついて、該当する項目全てにチェッ					
	クしてください。							
	□新規の営業先の開	□新規の営業先の開拓						
問15		の試作品の研究・開発						
[ц] 1 О	□新分野・異業種分野への進出							
	□次世代自動車部品の量産							
	口何も行っていない。							
	口その他(
			」「次世代自動車部品の量産」とお					
問16	合えした方に何います。	。試作品・製品について具体的	に記載してください					
	CASE や Mags の准月	まについてマドバイフ わせ 道 左巫	けている場合、該当する項目全てに					
	ラエックしてください。	をについてアドバイスで担等を支	けている場合、該当りる項目主でに					
	□自動車メーカー							
問17	□百動単グーガ □直接納入している取	리失						
	□外部の専門家	. 30 30						
	□その他()					
		展に対応するための取組として	、県に対する意見・要望事項につい					
	て、該当する項目全て		(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
問18	□技術指導·相談	□企業間連携·活動支援	□ 販路開拓支援(展示会出展支援等)					
	□産学官連携	□設備投資への支援	□自動走行・安全技術の実証実験への支援					
		□ インフラ整備(充電器、水素ステーション)						
		□研究開発・実証実験への支援	□その他()					
		□ CASE、MaaS 分野の企業誘致						

③取組	状況、事業方針について
	今後3~5年間の事業の見通しについて該当する項目全てにチェックしてください。
問19	□事業規模の拡大 □現在の事業規模を維持 □事業規模の縮小 □新規事業への転換 □分社化 □第二創業 □事業の譲渡 □休業または廃業
	今後3~5年間に力を入れていく取組について該当する項目3つにチェックしてください。
問20	□保有技術の高度化 □環境性能の向上 □人材の採用 □知的財産戦略の強化 □新技術の導入 □海外拠点の設置・強化 □人材の育成 □経営体制の強化 □新製品の開発 □取引先との関係強化 □他社・大学等との連携 □その他 □他分野での新事業の開拓 □国内の販路開拓 □生産効率の向上 () □生産能力の増強 □海外の販路開拓 □事業承継
	今後10~15年間の事業の見通しについて該当する項目全てにチェックしてください。
問21	□事業規模の拡大 □現在の事業規模を維持 □事業規模の縮小 □新規事業への転換 □分社化 □第二創業 □事業の譲渡 □休業または廃業
	現在取り組んでいる新規事業について、該当する項目全てにチェックしてください。
問22	□保有技術の高度化 □既存分野での新製品の開発・提案 □新分野での事業開発・展開 □新技術の導入 □既存製品の販路開拓 □必要性は感じるが取り組んでいない
問23	問22で「既存分野での新製品の開発・提案」、「新分野での事業開発・展開」とお答した 方に伺います。その取組を行う理由として、該当する項目全てにチェックしてください。 □既存技術が転用・応用できた □市場ニーズの把握 □既存市場の縮小、消滅
	□取引先からの要求 □新しい柱の創出 □他社との競争激化
問24	問22で「必要性は感じるが取組をしていない」とお答えした方に伺います。該当する項目全てにチェックしてください。 □取り組むテーマが分からない □開発する時間がない □開発する資金がない □開発の進め方が分からない □その他(
	販路開拓について、該当する項目全てにチェックしてください。
問25	□展示会に出展している □HPで情報発信している □販路開拓する人材が不足 □マッチングイベントに参加 □販路開拓の必要がない □販路開拓する時間がない □新規顧客を開拓している □販路開拓の方法が分からない □その他()
	御社の中核人材の育成に関する取組について該当する項目にチェックしてください。
問26	□実施している □必要性は感じているが実施していない □必要がない
	御社が実施している中核を担う人材を育成する取組について、該当する項目全てにチェックしてください。
問27	□社内研修 □OJT □Off-JT □社外研修、セミナーへの参加 □指導人材の派遣 □社内表彰制度の設置 □技能検定等の受験料補助 □QCサークル、改善提案の募集 □その他(
	問26で「必要性は感じているが実施していない」とお答えした方に伺います。実施していない。
問28	い理由はなぜですか。該当する項目全てにチェックしてください。 □時間の余裕がない □研修の情報がない □指導人材がいない □予算がない
問29	人材不足に対応する御社の取組について、該当する項目全てにチェックしてください。
	□従業員の多能工化 □受注量の調整 □リードタイムの短縮 □IoTの導入 □協力会社へ外注 □高機能な生産設備の導入
	□人員の再配置 □標準マニュアルの作製 □その他() 問 29で「loT の導入」とお答えした方に伺います。 loT 機器の使用目的について、該当する
	項目全てにチェックしてください。
問30	□生産状況の進捗管理 □工場内の物資輸送の効率化 □設備保全 □検査工程の自動化 □技術のデータベース化 □その他() □梱包、出荷工程の自動化 □受発注の管理

④ワー·	クショップについて
問31	愛知県は県内の中小企業の皆様の今後のCASEの進展等への対応策として、自社の強みを生かした、開発提案型企業への転換を支援するワークショップを開催する予定です。今後、ワークショップが開催された場合、貴社のワークショップへの参加希望の有無について、該当する項目にチェックをつけてください。
	□積極的に参加する □参加したい意向はある(検討中) □参加しない □わからない
	ワークショップで取り組みたい内容について、該当する項目全てにチェックをつけてください。
問32	□自社の強みの特定 □情報発信力の強化 □販路開拓、新規顧客開拓の方法 □先進的な企業との情報交換 □IoTの活用方法 □多品種少量生産のためのカイゼン、TPS □ その他(
問33	貴社の生産活動方針や自動車業界の変化に対する意識、課題、変化に応じた取組などについて愛知県担当者が訪問して、お話をお伺いしてもよろしいでしょうか。該当する項目に○をつけてください。
	□訪問可能 □訪問不可

⑤県に対する意見・要望事項について					
問34	県に対する意見・要望事項について、該当する項目全てにチェックをつけてください。				
	□ 販路開拓支援		経営指導·相談		産学行政連携支援
	□ 金融支援		技術指導·相談		海外展開支援
	□ 新分野進出支援		人材確保支援		起業·創業支援
	□ 新商品開発支援		人材育成支援		その他

質問は以上です。 ご協力ありがとうございました。